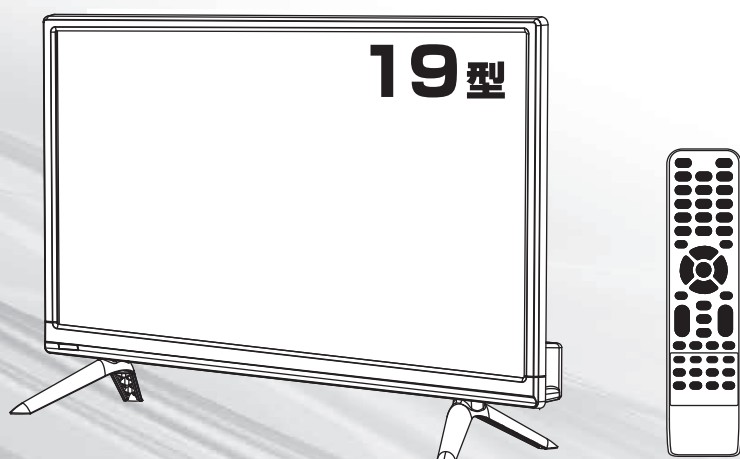


家庭用

日本国内専用
Use only in Japan

地上デジタル ハイビジョン液晶テレビ A19C1B2

取扱説明書



もくじ 2

はじめに 3

準備 13

テレビを見る 23

録画・予約・再生をする ... 30

設定 34

外部機器との接続 ... 45

その他 52



データ放送には
対応していません。

このたびは液晶テレビをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

特に「安全上のご注意」は、液晶テレビをご使用前に必ずお読みいただき正しくお使いください。

■ 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

もくじ

はじめに **3**

安全上のご注意.....	4
使用上のご注意・お手入れについて.....	10
付属品の確認.....	12

準備 **13**

各部の名称(リモコン).....	14
各部の名称(本体).....	15
テレビの設定.....	17
設置する.....	17
アンテナの接続.....	18
外部機器と接続する.....	18
miniB-CASカードの準備.....	19
リモコンの準備.....	20
電源を入れる.....	20
地上デジタル放送チャンネル設定.....	21

テレビを見る **23**

電源を入れる.....	24
チャンネルを切り換える.....	24
音量を調節する.....	25
画面サイズを変更する.....	25
画面表示をおこなう.....	26
音声を切り換える.....	26
オフタイマーを使う.....	26
字幕を切り換える.....	27
電子番組表(EPG).....	28

録画・予約・再生をする **30**

録画・予約.....	31
再生する.....	33

設定 **34**

設定のメニュー画面.....	35
チャンネル設定.....	36
視聴設定.....	38
機器設定.....	41
システム情報.....	43
録画設定.....	44

外部機器との接続 **45**

デジタル音声入力のある機器との接続.....	46
ビデオ映像出力のある機器との接続.....	47
D映像出力のある機器との接続.....	48
HDMI出力のある機器との接続.....	49
PC(パソコン)との接続.....	50

その他 **52**

故障かな?と思ったら.....	53
壁掛けについて.....	57
製品仕様.....	58
保証書とアフターサービス.....	60

はじめに

本製品をご使用になる前に下記の「安全上のご注意」、「使用上のご注意・お手入れについて」を必ずよく読み、正しくお使いください。

安全上のご注意.....	4
使用上のご注意・お手入れについて.....	10
付属品の確認.....	12

● 安全上のご注意

ご使用前に本書、特に「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しく安全に使用してください。

この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。これらは、あなたや他の人々への危害や、財産の損害を未然に防ぐための表示です。危害や損害の内容や程度に応じて、表示を以下のように区分しています。内容をよく理解していただいてから本文をお読みいただき、記載事項をお守りください。



警告

この内容をお守りいただかないと、人が死亡や大けがに至るような、重大な事故が起こる可能性があります。



注意

この内容をお守りいただかないと、人のけがや財産の損害をまねくことがあります。

図記号の意味 (例)



気をつけていただきたいという記号です。



してはいけないという記号です。



していただきたいという記号です。

警告 (移動、設置)



正しい方法で運搬 / 移動する

誤った方法で運搬したり移動したりすると、本機が落下し、打撲や骨折をしたり、大けがをすることがあります。運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。落下や破損などにより、大けがの原因となります。テレビの底面を持つときは、後ろ側から手を回してしっかりと持ってください。

修理や引っ越しなどで本機を運ぶ場合は、お買い上げ時に本機が入っていた箱と、クッション材を使ってください。



運搬 / 移動するときは接続されている線などをすべて外す

本機を運ぶときは、本機に接続されている電源プラグやケーブルなどを全てはずしてください。電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



使用・設置場所について

電源コンセントに容易に手が届く場所に置き、何か異常が起こったときは、すぐに電源プラグを抜くようにしてください。暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度の明るさの中でご覧ください。また、連続して長い時間、画面を見ていることも目を疲れさせます。



通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- ・あお向けや横倒し、逆さまにしない。
- ・棚や押入の中に置かない。
- ・ホットカーペットの上に置かない。
- ・布をかけない。

⚠ 警告（移動、設置）（つづき）

❗ 周囲に間隔を空ける

周囲に間隔を空けないで設置すると、通気孔がふさがって内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。下記以上の間隔を空けて、熱がこもらないように設置してください。

- ・上部:30 cm
- ・左右:10 cm
- ・下部:10 cm（壁掛けの場合）
- ・背面:6 cm

❗ 壁に取り付ける場合は、必ず専門の業者に取り付けてもらう

⊘ 設置時は設置関係者以外近づかない

専門業者以外の方が取り付けたり、取り付けが不適切だと、本機が落下するなどして、打撲や骨折などけがの原因となることがあります。

❗ スタンドを正しく取り付け、転倒防止の処置を必ず行う

スタンドは本書にしたがって正しく取り付けてください。また、スタンドや床、壁などの間に、適切な転倒防止の処置を行ってください。転倒防止の処置をしないと、本機が倒れてけがの原因となることがあります。

⊘ 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、本機が落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。平らで十分に強度があり、落下しない所に置いてください。

⊘ 乗り物の中や船舶の中などで使用しない

移動中の振動により、本機が転倒したりして、けがの原因となることがあります。塩水をかぶると、発火や故障の原因となることがあります。

⊘ 湿気やほこり、油煙、湿気の多い場所や、虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない

火災や感電の原因となることがあります。銭湯や温泉の脱衣場などに設置すると、温泉に含まれる硫黄などにより、硫化したり、高い湿度で本機が故障したりすることがあります。

⊘ 本機を医療機器の近くに設置しない

医療機器の誤動作の原因となることがあります。

⊘ 屋外や窓際で使用しない

雨水などにさらされ、火災や感電の原因となることがあります。また、直射日光を受けると、本機が熱を持ち、故障することがあります。海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることがあります。

⊘ 水のある場所に置かない

水が入ったり、ぬれたり、風呂場で使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用は特にご注意ください。

⊘ 本機の表面が割れたときは、電源プラグをコンセントから抜くまで本機に触れない

電源プラグをコンセントから抜かずに本機に触れると、感電の原因になることがあります。

⊘ 目や口に液晶を入れない / ガラスの破片に触れない

液晶パネルが破損すると、破損した部分から液晶（液状）が漏れたり、ガラスの破片が飛び散ることがあります。この液晶やガラスの破片に素手で触れたり、口に入れたりしないでください。ガラスの破片に触れるとけがをするおそれがあります。また、漏れた液晶に素手で触れると中毒やかぶれの原因となります。臭いがかぐこともやめてください。誤って目や口に入ったときは、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。

安全上のご注意 (つづき)

⚠ 警告 (電源コード・プラグ)

- ⊘ コンセントや配線機器の定格を超える使用いかたや、交流 100V (50/60Hz) 以外では使用しない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱により火災の原因となります。海外などで異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

- ⊘ 電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱したりしない

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）交換をご依頼ください。そのまま使用すると、コードが破損して、火災・感電の原因となります。

- ⊘ 電源コードに重いものを載せたり、本機の下敷きにしたりしない

火災・感電の原因となります。

- ⊘ ゆるいコンセントに接続しない

電源プラグは、根本までしっかりと差し込んでください。根本まで差し込んでみゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して火災の原因となることがあります。電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

- ⚠ 電源プラグをつなぐのは、他機器との接続が終わってから

コンセントに差したまま他機器と接続すると、感電の原因になることがあります。他機器との接続が終わった後に、電源コードを本機につないでから電源プラグを壁のコンセントに差ししてください。

- ⚠ 電源プラグは定期的にお手入れを

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを取ってください。

- ⚠ お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れすると、感電の原因となることがあります。

- ⊘ めれた手で電源プラグにさわらない

めれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因になることがあります。

- ⊘ 電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷が付き、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

- ⊘ 雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグに触れない

感電の原因となります。

- ⊘ 他の電源コードを本製品に使用したり、付属の電源コードを他の商品に使用しない。

火災・感電・ショートの原因となります。

警告（使用）

本機にぶらさがらない

本機が壁からはずれたり、倒れたりして、本機の下敷きになり、大けがの原因となることがあります。

煙やにおい、音などの異常が発生したら、 本機の電源を切り、電源プラグを抜く

異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。修理をお買い上げ店に依頼してください。お客様自身による修理は絶対におやめください。

内部に水や異物を入れない 本機の上に熱器具、花瓶など液体が入ったものやローソクを置かない

内部に水や異物が入ると火災の原因となります。万一、水が異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、修理をお買い上げ店に依頼してください。

分解や改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。内部の点検や修理はお買い上げ店にご依頼ください。

警告（電池）

電池を火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱、充電しない

電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池はプラスとマイナスの向きに注意し、 機器の表示どおり正しく入れる

間違えると電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

安全上のご注意 (つづき)

⚠ 注意

❗ お手入れのときや、旅行などで長期間ご使用にならないときは、電源プラグを抜く

お手入れのときや、本機を長時間使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグを抜いてください。本機は電源スイッチを切っただけでは、完全に電源からは切り離されておらず、常に微弱な電流が流れています。完全に電源から切り離すためには電源プラグをコンセントから抜く必要があります。コンセントは製品の設置場所に一番近く、抜き差しがしやすい場所を選んでください。

⊘ 電源コードを熱器具に近づけない

電源コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

❗ 人が通行するような場所に置かない・コード類は正しく配置する

電源コードや信号ケーブルは、足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。人が踏んだり、引っかけたりするような恐れのある場所を避け、充分注意して接続・配置してください。

⊘ たこ足配線をしない

火災・感電の原因となることがあります。

⊘ 重いものを置いたり、上に乗ったりしない

倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様やペットにはご注意ください。

❗ 電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと発熱したり、ほこりが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

⊘ 液晶画面に物をぶつけない

ガラスが割れ、飛び散ったガラスにより、けがの原因となります。

⚠ 音量について

周囲の人の迷惑とならないよう適度の音量でお楽しみください。特に、夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを使用したりして、隣近所への配慮を充分にし、生活環境を守りましょう。ヘッドホンを使用されるときは、耳を必要以上に刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳を強く刺激するような大きな音で長時間続けて聞くと、聴覚に悪い影響を及ぼすことがあります。耳鳴りがするような場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。また、ヘッドホンをつけたまま眠ってしまうと、災害時などに避難が遅れてしまうなどの危険があります。呼びかけられたら返事ができるくらいの音量でお聞きください。

❗ アンテナの工事は電気店に依頼する

アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、必ず電気店にご依頼ください。

 **注意（電池）** **指定された種類の電池を使用する**

間違えると電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

 **電池は幼児の手の届くところに置かない**

電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師と相談してください。

 **電池の液がもれたときは素手でさわらない**

・電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
・皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に霜害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。

 **廃棄するときは**

廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

 **注意（廃棄）** **一般の廃棄物と一緒にしない**

一般の廃棄物と一緒にしないでください。ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本機を捨てないでください。

 **家電リサイクル法に従って廃棄する**

家電リサイクル法の規定により、お客様がご使用済みのテレビを廃棄される場合は、収集・運搬と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村などの自治体に適正に引き渡すことが求められています。

詳細に関するお問い合わせは、家電製品協会 家電リサイクル券センターまでお願いいたします。

電話：（フリーダイヤル）0120-319640

ホームページ（URL）：

http://www.rkc.aeha.or.jp/text/p_procedure.html

● 使用上のご注意・お手入れについて

液晶画面について

- 液晶画面を太陽に向けたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。屋外や窓際には置かないでください。
- 液晶画面を強く押ししたり、ひっかいたり、上に物を置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒いところでご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに元に戻ります。
- 使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。

輝点・滅点について

- 画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（滅点）が表れたりしますが、故障ではありません。液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

メモリーに保存されるデータに関するご注意

- 本機のメモリーには、各種の機能設定データや放送局からのメール・番組購入履歴などが記録されます。
- 本機のメモリーには、放送事業者の要求によりお客様が入力した個人情報や、データ放送のポイントなどが記録される場合があります。
- 本機を廃棄・譲渡などする場合には、上記のメモリーに記録されているデータを消去することを強くおすすめします。
- 本機の不具合・修理など、何らかの原因で、本機のメモリーに保存されたデータが破損・消滅した場合など、いかなる場合においても記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復は致しません。予めご了承ください。
- 何らかの原因でコンテンツが外部録画機器で記録できなかった場合や、外部録画機器で記録されたコンテンツが破損あるいは消去された場合など、いかなる場合においてもコンテンツの補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

スクリーン画面のお手入れについて

- お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 液晶の画面は特殊加工がされていますので、なるべく画面に触れないようにしてください。また画面の汚れをふきとるときは、乾いた柔らかい布でふきとってください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その販売会社にご確認ください。
- 布にゴミが付着したまま強くふいた場合、傷が付くことがあります。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり塗装がはげたりすることがあります。

外装のお手入れについて

- 乾いた柔らかい布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞り、ふきとった後を、乾いた布でカラ拭きしてください。
- アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤をかけると、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあるので、使用しないでください。
- 布にゴミが付着したまま強くふいた場合、傷が付くことがあります。
- ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

アンテナについて

- 妨害電波の影響を避けるため、交通の頻繁な自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりすると、映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされる場所では、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、お買い上げ店にご相談ください。

● 使用上のご注意・お手入れについて (つづき)

電磁波妨害に注意してください

- 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

長時間ご使用にならないとき

- 長時間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

国外では使用できません

- この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

miniB-CAS カードは必要なときだけ抜き差ししてください

- 必要以外に抜き差しすると、故障の原因となることがあります。
- miniB-CAS カードの中には IC が内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れたりしないようにご注意ください。
- 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」にならないように挿入してください。

取り扱い上のご注意

- 液晶画面を強く押したり、ボールペンのような先の尖ったもので押さないでください。また、落としたり強い衝撃を与えないようにしてください。特に液晶画面のパネルが割れることがあります。
- 振動の激しいところや不安定なところに置かないでください。また、絶対に落としたりしないでください。故障の原因となります。

使用環境について

- 本機を冷えきった状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。
- 周辺温度は 0 ~ 35℃ の範囲内でご使用ください。正しい使用温度を守らないと、故障の原因となります。

急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください

- 急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は、画面の表示品位が低下する場合があります。

リモコンの取り扱いについて

- 落としたり、踏みつけたり、液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- 直射日光が当たるところ、暖房器具のそばや湿度が高いところには置かないでください。

映像や音声の遅れについて

- テレビ放送、外部入力ソースによっては、映像や音声に若干の遅れが生じる場合があります。映像、音声でリズムを取るテレビゲームやカラオケ機器によっては、違和感を感じる場合がありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。

USB ハードディスクについて

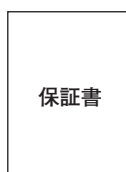
- USB ハードディスクを本機に正しく接続してください。正しく接続されていないと、本機では USB ハードディスクの登録ができません。またハードディスクを破損するおそれがあります。
- 動作中は、テレビ本体、または本機に接続した USB ハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。ハードディスクの故障の原因になります。

付属品の確認

本製品をご使用になる前に、以下の物が全てそろっているか確認してください。万が一、不足しているものや破損している場合は販売店、サービス/コールセンター(電話:0570-021-051)までご連絡ください。



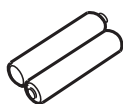
取扱説明書(本書)



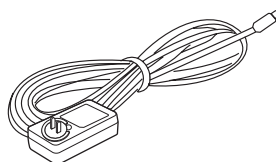
保証書



リモコン



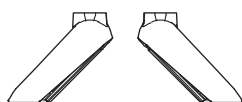
リモコン用乾電池2本
(単4形)



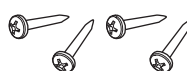
AC/DC アダプタ



miniB-CASカード



スタンド×2本



スタンド取り付け用ネジ
×4本

準備

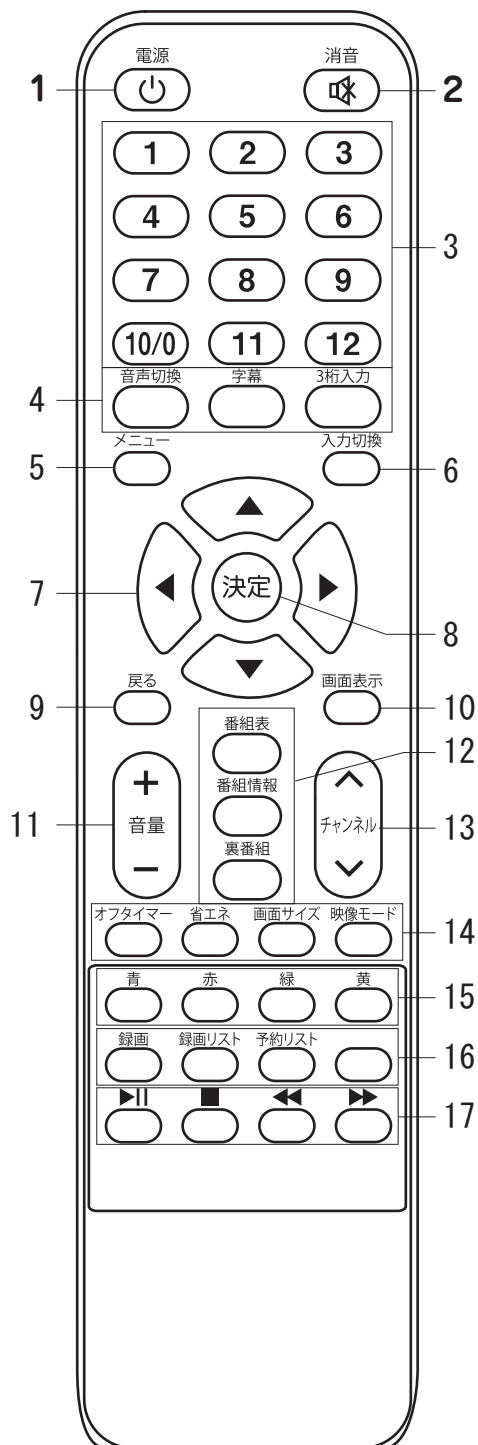
「準備」の項目はテレビをお楽しみいただくために必要なアンテナ接続方法、miniB-CASカード挿入方法、本製品の各部の名称、主な機能、リモコンのボタンの説明などをご案内いたします。

各部の名称(リモコン)	14
各部の名称(本体).....	15
テレビの設定	17
設置する.....	17
アンテナの接続.....	18
外部機器と接続する.....	18
miniB-CASカードの準備.....	19
リモコンの準備.....	20
電源を入れる.....	20
地上デジタル放送チャンネル設定	21

各部の名称(リモコン)

リモコン

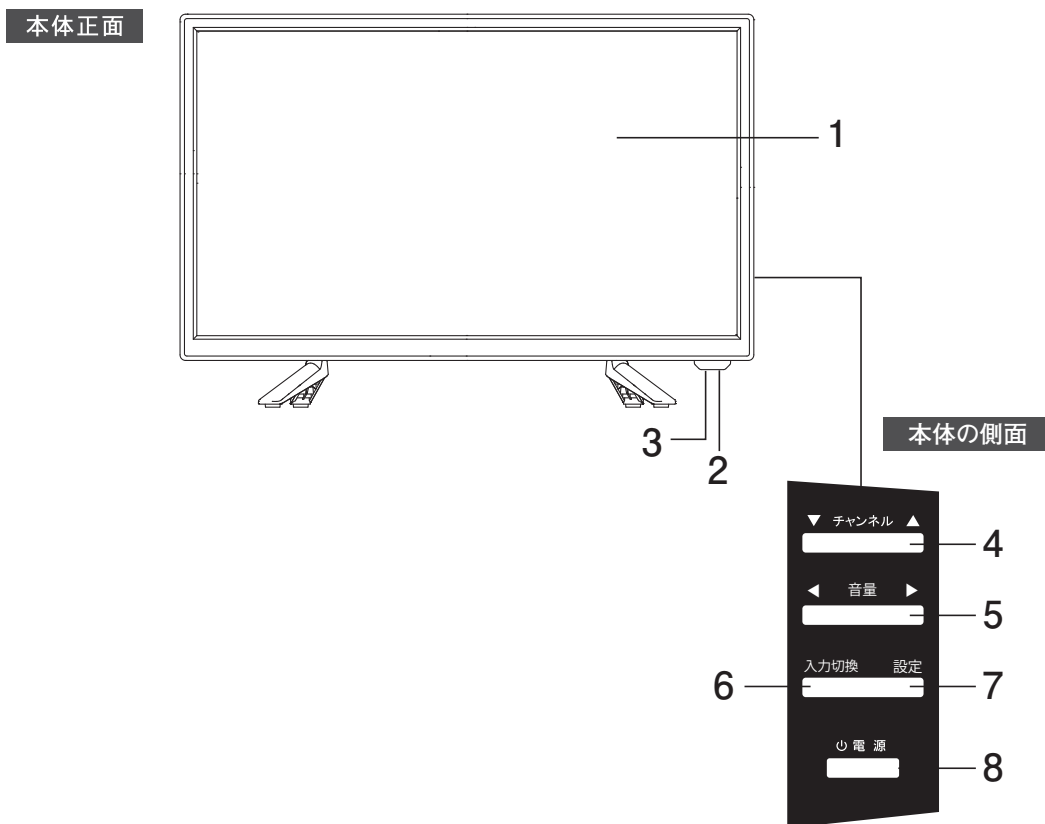
準備



- 1 **電源ボタン**
テレビの電源を入れたり、スタンバイにします。
- 2 **消音ボタン**
出ている音を一時的に消します。もう一度押すと元の音量に戻ります。
- 3 **数字ボタン**
登録されたチャンネルに切り換わります。
- 4 **音声切替ボタン**
二ヶ国語放送などのときに主音声と副音声、聞きたい音声を選択します。
- **字幕ボタン**
字幕のオフ / 第1言語 / 第2言語、字幕言語の選択をおこないません。
(字幕データが入っていない放送の場合は表示されません)
- **3桁入力ボタン**
3桁のチャンネル番号を使って選局するときに使います。
- 5 **メニューボタン**
設定メニューを表示します。
- 6 **入力切替ボタン**
テレビ放送の切替や外部機器入力の切替をします。
- 7 **◀▶▲▼ボタン**
メニュー内でカーソルを動かしたり項目を選択します。
- 8 **決定ボタン**
選択した項目を確定させます。
- 9 **戻るボタン**
メニュー内の選択項目をひとつ前の状態に戻します。
- 10 **画面表示ボタン**
見ている番組の放送局名やチャンネル番号を表示します。
- 11 **音量ボタン (+、-)**
音量を上げたり下げたりします。
- 12 **番組表ボタン**
電子番組表 (EPG) を表示します。
- **番組情報ボタン**
見ている番組の内容が表示されます。
- **裏番組ボタン**
現在放送されている番組を表示します。
- 13 **チャンネルボタン (へ、ゝ)**
設定されているチャンネル順にチャンネルを変えます。
- 14 **オフタイマーボタン**
設定した時間がたつと電源が切れます。
- **省エネボタン**
バックライトの明るさを調節して消費電力を低減します。
- **画面サイズボタン**
「自動」、「4:3」、「映画」、「ワイドスクリーン」画面に切り換えます。
- **映像モードボタン**
- 15 **カラーボタン**
画面で示されるいろいろな操作に使います。
- 16 **録画ボタン** 録画をします。
- **録画リストボタン** 録画した番組リストが見られます。
- **予約リストボタン** 予約中の番組リストが見られます。
- 17 **再生 / 一時停止ボタン**
- **停止ボタン**
- **早戻しボタン**
- **早送りボタン**

各部の名称(本体)

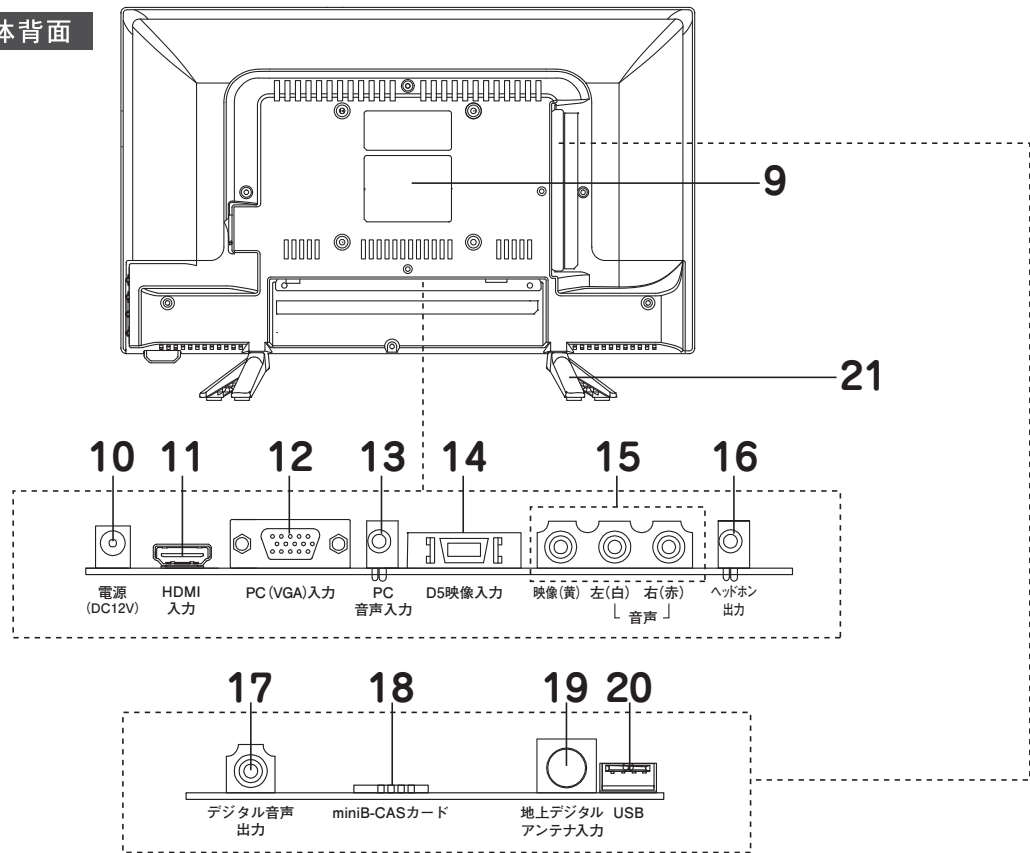
● 表示例として使用している表示画面については、実際の画面と異なる場合があります。



- 1 液晶パネル**
- 2 電源表示ランプ**
スタンバイ状態のときは赤色に点灯します。
電源オンにすると緑色に点灯します。
状態移行中は点滅します。
- 3 リモコン受光部**
- 4 チャンネル▼/▲ ボタン**
チャンネルの選択やメニュー設定時の項目の選択に使用します。
- 5 音量+/- ボタン**
音量の調整やメニュー設定時の項目の選択に使用します。
- 6 入力切換ボタン**
テレビにつないだビデオデッキ、DVDプレーヤーなどの外部機器の映像を見るとき使用します。
テレビ→ビデオ→D端子→PC入力→HDMIの順番で切り換わります。
- 7 設定ボタン**
各種設定ができる画面が表示されます。
- 8 電源ボタン**
ボタンを押すと、電源がオンになります。
(緑色LED点灯)
再度押すと、電源がスタンバイ状態になります。
(赤色LED点灯)

準備

本体背面



9 壁掛け金具取り付けネジ穴×4

10 電源

11 HDMI入力
HDMI出力端子付きの機器に対応しています。

12 PC (VGA) 入力
PCのRGBケーブルからの映像出力に対応しています。

13 PC音声入力
PCの音声出力に対応しています。

14 D5映像入力
D映像出力端子やコンポーネント出力端子付きの機器に対応しています。

15 ビデオ入力 (映像/音声)
ビデオ映像出力端子付きの機器に対応しています。
ビデオ音声/DVD音声入力端子
ビデオ/DVD映像入力端子やD5映像端子に共用の音声入力端子です。

16 ヘッドホン出力

17 デジタル音声出力
デジタル音声デコード機能を持つオーディオ機器と接続します。

18 miniB-CASカード挿入口

19 地上デジタルアンテナ入力
地上デジタルアンテナケーブルを接続します。

20 USB
録画/サービスマンテナンス用

21 スタンドユニット

テレビの設定

● テレビの設定手順

安全に品質を維持した状態で本製品をご利用いただくために下記の設定・接続が必要となります。

1 設置する



2 アンテナを接続する



3 (必要に応じ)外部映像機器と接続する



4 miniB-CASカードを入れる



5 リモコンの準備をする



6 電源を入れる



7 チャンネルを設定する

準備

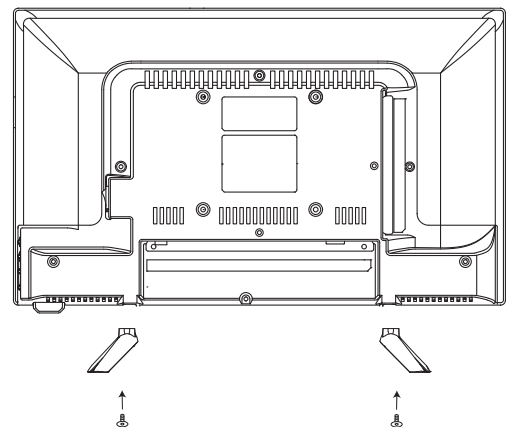
設置する

1 設置する

安全に本製品をご利用いただくために下記の注意事項を守って設置してください。

スタンドの取り付けかた

1. 台の上に厚手の柔らかい布を敷き、本製品の液晶パネルを下側にして、寝かせます。
2. スタンドネック底面の左右にスタンドを差し込み、それぞれネジ(2本)で固定します。



⚠ 注意

- 傾いていない水平な場所に設置してください。
- じゅうたんのような柔らかい場所やすべりやすい面などの不安定な場所には設置しないでください。
- 極端に温度が高いところや低いところに設置しないでください。
- 液晶パネルを傷つけないよう取り扱いにご注意ください。
- スタンド取り付けネジは付属品袋に入っています。
- プラスドライバーを使用します。
- 固定後にぐらつきがないように、確実にネジが締まっていることを確かめてください。
- 本製品を壁掛けを使用しての利用の場合は57ページをご覧ください、十分に理解した上で設置を行ってください。

アンテナの接続

2 アンテナを接続する

本製品は地上デジタル放送が受信できるテレビです。本製品を安全に品質を維持した状態でご利用いただくためには下記の確認と設定が必要です。ご注意ください。

● アンテナについてのご注意

UHFアンテナ(地上デジタル用)が設置されているか確認する必要があります。

UHFアンテナ(地上デジタル用)が設置されていない場合は地上デジタル放送はご覧になれません。(または視聴できません)

UHFアンテナの購入、設置が必要です。設置に関しては販売店、電気店、専門の業者にご相談ください。

※アンテナ受信レベルが弱い(低下)場合は画面にモザイク状にノイズが入るか、画面が表示されず音声のみになるなどの症状が出る場合がありますので、アンテナの取替えや調整、ブースター(電波増幅器)が必要になる場合があります。

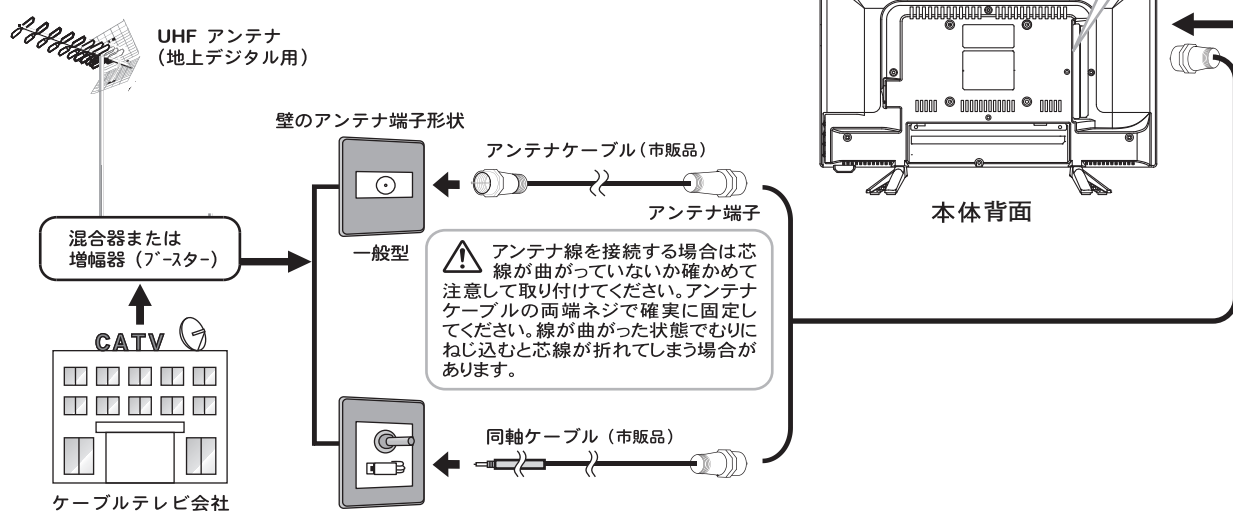
アンテナ受信レベルが弱い場合、ブースター(電波増幅器)のご利用をお勧めします。

ブースター(電波増幅器)の機種によっては設置及び調整には専門の知識と技術が必要になりますので、ご購入の際は販売店や専門の業者にご相談ください。

※集合住宅などの場合は他の部屋などに影響が出る可能性があります。事前に管理者にご相談ください。

⚠ 注意 【CATV(ケーブルテレビ)で地上デジタル放送をご覧になるお客さまへ】

各ケーブルテレビ会社によって伝送方式や接続方法が異なる場合があります。詳しくは各ケーブルテレビ会社にお問い合わせください。



アンテナ端子形状の確認と接続

● アンテナ端子形状の確認

本製品のアンテナ入力端子はF型です。

アンテナケーブルを購入される際には端子形状をご確認ください。

● 室内側(壁)のアンテナ端子とテレビ本体のアンテナ端子の接続

壁のアンテナ端子形状と壁のアンテナ端子とテレビまでの距離を確認して、それに合うアンテナケーブルをお買い求めください。

外部機器と接続する

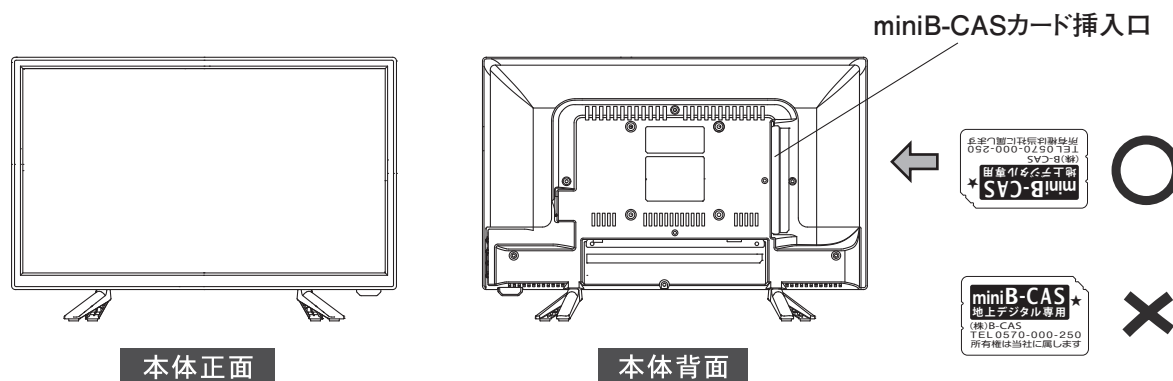
3 (必要に応じ)外部映像機器と接続する

再生機器やPC(パソコン)等を接続する場合は本体背面の各入力端子を使用します。接続する機器に対応した入力端子に接続してください。各入力端子の詳しい説明は45ページ~51ページを参照してください。

miniB-CASカードの準備

4 miniB-CASカードを入れる

デジタル放送を試聴する場合には、必ずminiB-CASカードを挿入してください。miniB-CASカードは、放送局からのメッセージ管理等のほか、著作権保護の為にコピー制御にも利用されています。miniB-CASカードが挿入されていないとデジタル放送をご覧になれません。



準備

miniB-CASカードの挿入時は、本製品の電源プラグを電源コンセントに接続しない状態で挿入します。本体背面の右側にあるminiB-CASカード挿入口にminiB-CASカードをカチッと音がするまで挿入します。上図のようにminiB-CASカードは矢印の方向へ挿入してください。

miniB-CASカードを抜くとき

- 万一、抜く必要があるときは、本製品の電源プラグを電源コンセントから抜いたあと、押し込むようにすると、出てきますので、そこで抜いてください。
- miniB-CASカードにはIC(集積回路)が組み込まれているため、画面にminiB-CASカードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差しをしないでください。

miniB-CASカードについて

- 本製品に付属のminiB-CASカードには1枚ごとに違う番号(miniB-CASカード番号)が付与されています。
- miniB-CASカードに関する質問や台紙の内容などに関して不明な点がある場合はB-CASカスタマーセンター(TEL:0570-000-250)へお問い合わせください。

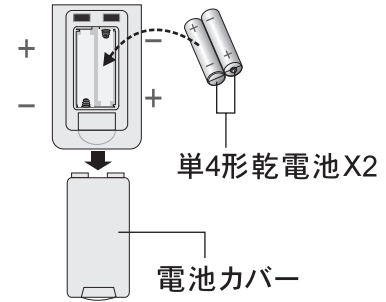
⚠ 注意

- miniB-CASカードを折り曲げたり、変形させないでください。
- miniB-CASカードの上に重いものを置いたり踏みつけたりしないでください。
- miniB-CASカードに水をかけたり、ぬれた手でさわらないでください。
- miniB-CASカードのIC(集積回路)部には手をふれないでください。
- miniB-CASカードの分解加工は行わないでください。
- ご使用中にminiB-CASカードの抜き差しはしないでください。デジタル放送が視聴できなくなる場合があります。
- miniB-CASカード挿入口にminiB-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となることがあります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違えるとminiB-CASカードは機能しません。
- カードが貼ってある台紙の説明をご覧ください。

リモコンの準備

5 リモコンの準備をする

- リモコン背面の電池カバーを取り外してください。
- 電池の向き(+、-)に注意して単4形乾電池を入れてください。
- カバーを元に戻します。

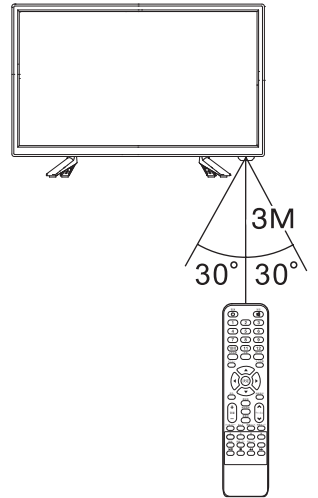


⚠ 注意

- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間(1か月以上)リモコンを使用しないときは、電池の液もれを防ぐため、乾電池を取り出してください。もし、液もれを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- 不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示(条例)に従って処理してください。

⚠ 警告

電池を直射日光の強いところや、炎天下の車内・ストーブの前などの高温の場所で使用・放置しないでください。電池の液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。また、電池の性能や寿命が低下することがあります。



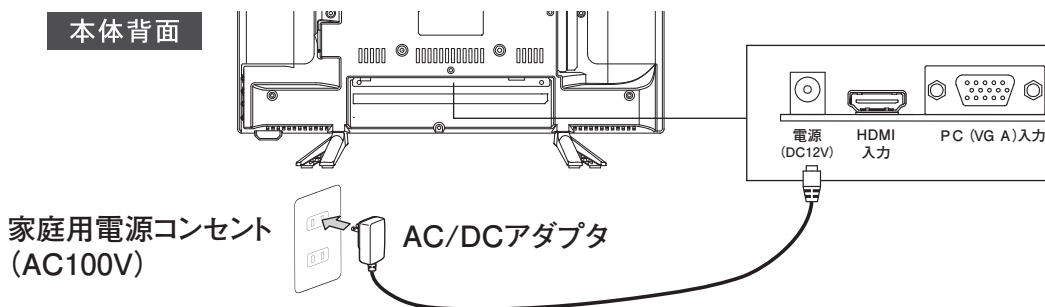
基本的な使い方

リモコンはディスプレイ本体のリモコン受光部へ正しく向けて操作してください。本製品のリモコン対応範囲は距離 3メートル以内、上下左右30°以内(右図参照)です。またリモコンとリモコン受光部の間に物を置かないようにしてください。

電源を入れる

6 電源を入れる

付属のAC/DCアダプタの本体側プラグを本体背面下の「電源」に接続し、コンセント側プラグを家庭用100Vの電源コンセントに接続してください。



本体背面の電源ボタンを押すか、リモコンの電源ボタンを押してください。電源表示ランプは動作中は緑に、スタンバイ(待機)中は赤く点灯します。

⚠ 注意

- 電源を入れてから画面が映るまでに約20秒かかります。画面が表示されるまで少しお待ちください。
- リモコンの電池がきちんと入っていることを確認してください。
- AC/DCアダプタを通電オフとするにはAC/DCアダプタを電源コンセントから抜いてください。
- 電源コンセントは容易に抜き差しのできる場所のものを使用してください。

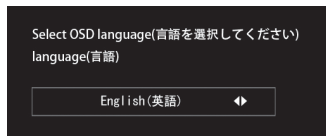
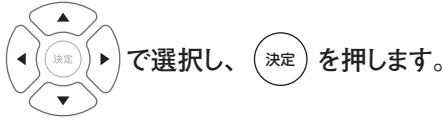
地上デジタル放送チャンネル設定


7 チャンネルを設定する

地上デジタル放送チャンネルを設定し、テレビ番組を視聴できるようにします。

1  を入ると初期画面が図のようにあられます。



2 言語設定で言語を日本語か英語を選択します。

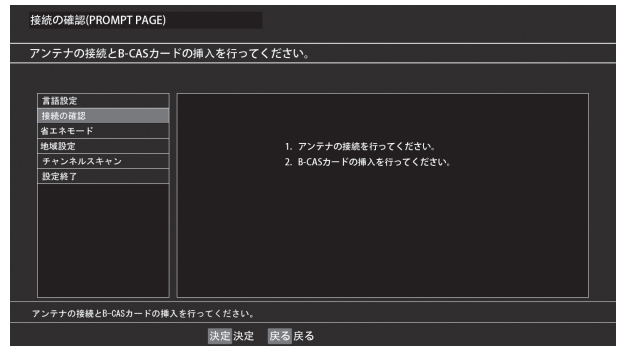


3 接続の確認をして  を押します。

4 省エネモードの詳細は40ページをみてください。

確認して  で選択し、  を押します。

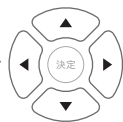
5 地域設定でお住まいの地域を  で選択し、  を押します。



準備

地上デジタル放送チャンネル設定

6 チャンネルスキャンで対象周波数を
で選んで **決定** を押します。



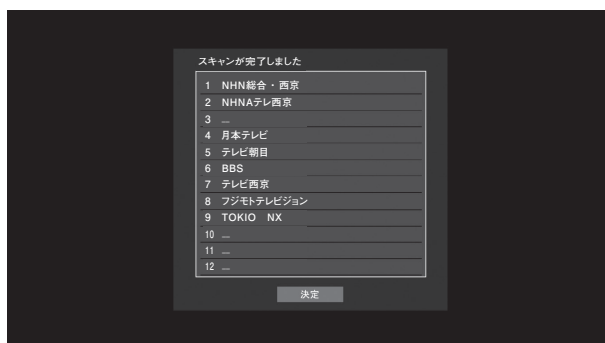
対象周波数はTV信号がアンテナからの場合はUHFを、CATVの場合は全周波数を選んでください。
地域によってはアンテナがVHFの場合があります。その場合は全周波数を選んでください。



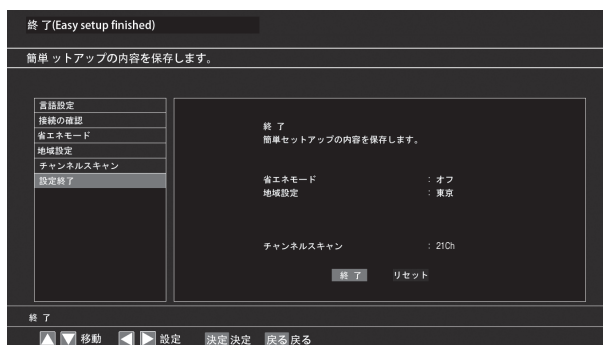
7 スキャンしています。



8 スキャンが終了しました。
決定 を押します。



9 設定終了の確認画面で **決定** を押すとテレビ画面が視聴できます。リセットするにはカーソルでリセットを選んで **決定** を押します。




テレビを見る

「テレビを見る」の項目では、本製品をお使いいただく際の基本的な操作方法やさまざまな機能のご使用方法をご案内いたします。

電源を入れる.....	24
チャンネルを切り換える	24
音量を調節する.....	25
画面サイズを変更する.....	25
画面表示をおこなう.....	26
音声を切り換える	26
オフタイマーを使う.....	26
字幕を切り換える	27
電子番組表 (EPG).....	28

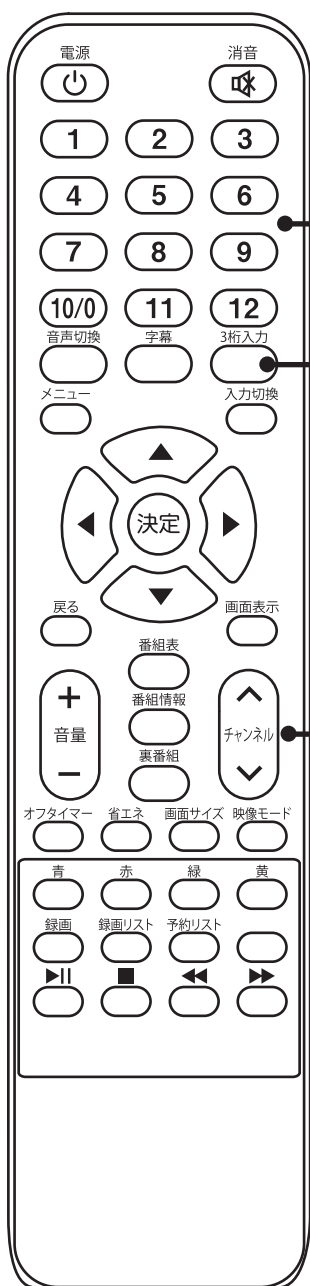
電源を入れる

本製品の電源表示ランプが赤色点灯の状態リモコンの^{電源}()か本体の電源ボタンを押してください。前面の電源ランプが緑色に点灯します。しばらくすると、前回見ていたチャンネルが表示されます。



チャンネルを切り換える

リモコン




テレビを見る

数字ボタン

数字ボタンを押すと割り当てられているチャンネルに切り換わります。


3桁入力ボタン

デジタル放送で^{3桁入力}()を押すとチャンネル番号入力欄が表示されます。

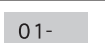
数字ボタンで3桁のチャンネル番号を入力します。

例：地上デジタル「012」チャンネルを選ぶとき。

① ^{3桁入力}()を押します。

 画面右上に3桁入力欄が表示されます。

② 数字ボタン    を押します。

 3番目の数字ボタンを入力するとチャンネルが変わります。

チャンネルボタン

チャンネルボタンを押すと登録されているチャンネル順にチャンネルが切り換わります。


本体のチャンネル+/-ボタンでも切り換わります。

※地上デジタルで複数チャンネル放送を行っている場合、代表チャンネル以外に切り換えることができます。

音量を調節する

リモコンの  ボタンの  で音量が大きくなり、 で小さくなります。



消音  を押すと音声が一時的に出なくなります。


もう一度  を押すか、音量ボタンを押すと解除されます。


また、電源のオフ/オンをおこなうと解除されます。



本体の音量+ボタンでも解除できます。

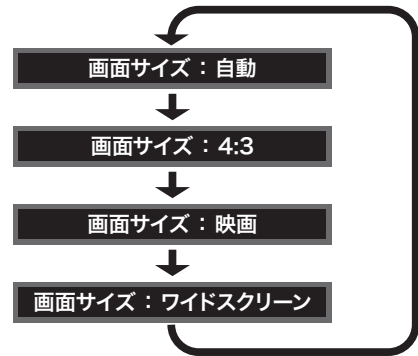
画面サイズを変更する

● 画面サイズの変更

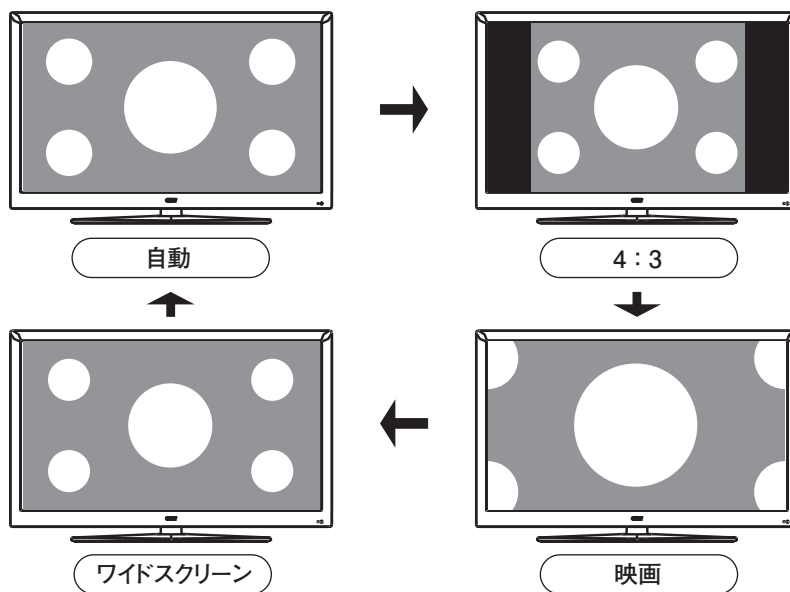
 で画面のアスペクト比を切り換えることができます。アスペクト比の切換は入力モードによって変わります。自動、4:3、映画、ワイドスクリーンから画面サイズを選択できます。


1  を押すと、画面の左に画面サイズが出ます。

2  で選んで  を押し、画面サイズを変更します。



 放送によっては、画面サイズの変更ができない場合があります。



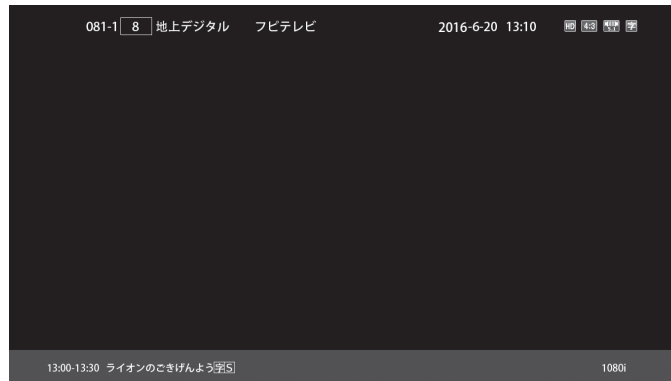
 入力信号によっては、画面サイズの変更ができない場合があります。PCの入力時はワイドスクリーンはジャストスキャンになります。映画では上下の黒帯をカットします。

画面表示をおこなう

画面表示

○ を押すと、画面に情報を表示します。

デジタル放送を視聴中に ^{画面表示} ○ を押すと画面に現在のチャンネルや番組タイトルなどのチャンネル情報を表示します。



テレビを見る

音声を切り換える

音声情報が複数ある番組(2か国語放送など)の場合、^{音声切換} ○ を押すと、音声の選択画面が表示されます。

オーディオ

日本語

英語



で音声を選び、^{決定} ○ を押して音声を選びます。

⚠ 放送によって音声情報の表示は異なります。

オフタイマーを使う

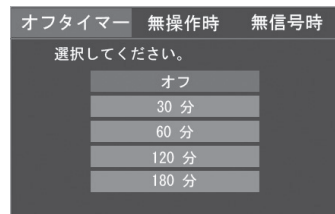
オフタイマー

○ ボタンを押して、自動でテレビの電源を切る時間を設定します。

オフ/30/60/120/180分の順番に設定できます。

最後の1分(60秒)から電源の切れるまでの時間が表示されます。

この時間にどれかキー操作をするとオフタイマーがキャンセルされます。



字幕を切り換える

字幕のある番組のときに、字幕のオフ、第1言語、第2言語を切り換えることができます。

デジタル放送視聴中に  を押します。




で第1言語、第2言語を選び、  を押します。

字幕放送非対応の番組の場合、切り換えられる字幕がありませんと表示されます。

字幕表示設定
オフ
第1言語
第2言語

最大切り換え数は2ヶ国語までです。
地上デジタル放送の字幕の設定はメニューからおこなえます。
詳しくは40ページを御覧ください。


 放送によって字幕切替できない場合があります。

電子番組表(EPG)

● 番組表(電子番組表:EPG)を表示する

「電子番組表」とは デジタル放送などでテレビ画面に表示される番組表のことです。

◆ 基本操作

デジタル放送を視聴中にリモコンの  を押すと、視聴していた番組が選択されている番組表が表示されます。

番組表は7放送局分、4時間分までの番組名画面が表示されます。

番組表は本日を含めて8日分の番組を表示させることができます。

◆ 番組表を取得する方法

電源を入れた状態では、全チャンネルの全ての時間帯の番組表データを取得できていません。

未受信のチャンネル番組表を取得する場合は、番組表データを取得したいチャンネルを選択し番組表をいったん閉じます。数分後、再び番組表を表示すると、データの受信が完了している場合には、そのチャンネルの番組名などが番組表に表示されます。




地上デジタルの番組表データは一つのチャンネルごとに受信します。別のチャンネルの番組表データを受信するには別のチャンネルを選択して、同様の操作をおこなってください。

なお、番組表データの取得時間は電波状況によって異なります。取得に時間がかかる場合がございます。その間は、リモコンを操作しても、番組表は切り換わりませんので、あらかじめご了承ください。

番組表データは電源を切る(スタンバイ)と保存されません。

◆ 電子番組表の表示



地上デジタル放送 2016-2-15 19:15(水)

日付: 4日(水) 2/16(木) 2/17(金) 2/18(土) 2/19(日) 2/20(月) 2/21(火) 2/22(水)

選局中の放送チャンネル: 2 / 15(水) P. M. 19:00~P. M. 19:56

放送局名: NHN 総合 1- 西京, NHN 総合 2- 西京, 目テレ1, テレビ朝目, テレビ西京, フジテレビ, M-XMF

選択中番組: PM 7, PM 8, PM 9, PM 10

時間帯: 19:00, 19:30, 20:00, 20:30

操作ガイド: 移動, 決定, 録画予約, 戻る, 戻る, 青 今の時間へ, 赤 前の日へ, 緑 次の日へ, 黄 マルチ切換, 録画

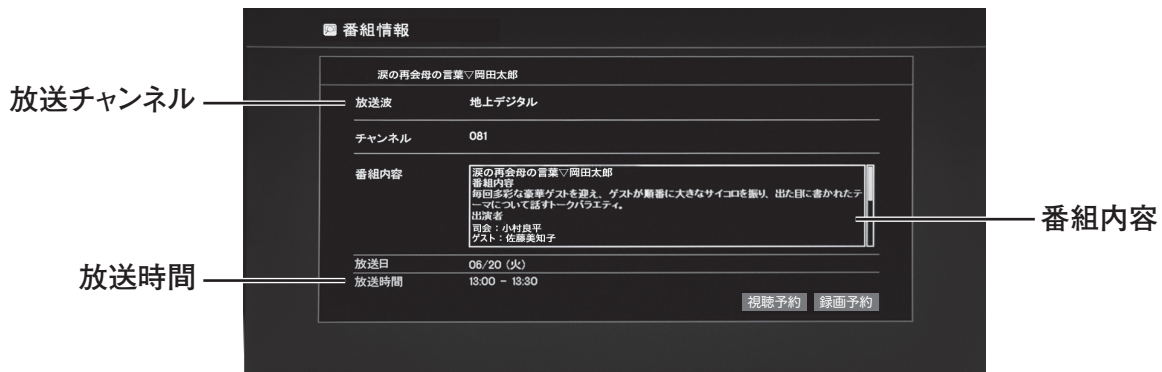


上記の番組表は架空のもので実際のものとは一切関係ありません。なお画面の表示形式は実際のものとは多少、異なる場合があります。



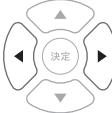


電子番組表(EPG)

◆番組情報の表示







放送を視聴中に  を押すと番組の情報が表示されます。





◆番組表から番組情報を知りたい番組を選ぶ

- 1  を押し、番組表を表示します。
- 2 番組情報を知りたい番組を  で選択します。放送局を切り換えるには放送局名を選択し、 で選択します。番組を切り換えるには  で選択します。
- 3  を押し、番組情報が表示されます。

◆翌日以降の番組情報を見る


- 1  を押し、番組表を表示します。
- 2  を押していくと、7日後までの番組表を見ることができます。または、リモコンの  を押し、翌日に切り換わります。リモコンの  を押し、前日に切り換わります。リモコンの  を押し、今の時間に戻ります。
- 3  を押し、番組情報が表示されます。

◆マルチ切換

- 1  を押し、番組表を表示します。
- 2 リモコンの  を押し、番組表がマルチ表示になります。一つのチャンネルの中で、同時に3番組が放送されている場合があります。その番組を表示します。

地上デジタル放送					
4日(水)		2/16(木)		2/17(金)	
2 / 15(水) P.M. 19:00~P.M. 19:56					
011-2	012-1	040-1	060-1	6	
NHN 総合1・西京	NHN 総合2・西京	目テレ1	目テレ1	テレビ朝日	
PM 7	PM 7	PM 7	PM 7	PM 7	
PM 8	PM 8	PM 8	PM 8	PM 8	
PM 9	PM 9	PM 9	PM 9	PM 9	

◆裏番組

- 1 裏番組を押し、現在番組表を表示します。
- 2 カーソルを表示されているチャンネルに合わせて  を押し、そのチャンネルが視聴できます。

地デジ現在番組表			14:8:2016 13:09	
011-1	1	19:00-19:30	ペンギンのごきげんよう	田
021-1	2	19:55-20:30	今日もスクスク ママの手作りクッキー	子
041-1	4	19:55-21:00	泳げないやき君	田
051-1	5	18:54-20:00	世界の国からこんには	
061-1	6	18:00-20:54	今日も元氣だ、こはんが旨い!	日
011-1	1	19:00-20:30	ワンのような本当の話!	100
011-1	1	18:55-20:54	高齢者から学べ おばあちゃんの知恵袋!	お
081-1	8	19:00-20:54	フードファイター! 大食い王決定!	
071-1	7	19:00-20:00	東京を散策! 今回は中央線の旅、美味しいお店にぶらりと立ち寄る	

テレビを見る

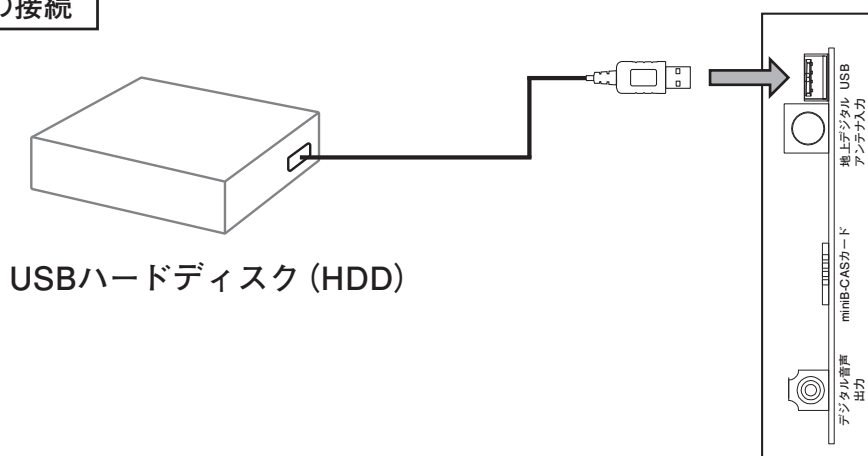
録画・再生

USBハードディスク(HDD)を本製品に接続することによって番組の録画、予約、再生をすることができます。

→USBハードディスク(HDD)の設定については、録画設定(44ページ)を参照してください。

録画・予約.....	31
再生する.....	33

HDDの接続



USBハードディスク (HDD)



録画の制限事項




- 録画中に録画している番組以外を視聴できません。
- 録画開始時や終了時の予約時間とは数秒のずれがあります。
- 外部入力の映像は記録することはできません。
- 録画したデータは、パソコンなどで使用することはできません。
- 録画中に録画している番組を再生・視聴することはできません。
- 予約は最大 25 件まで可能です。
- 同じ時間帯に重複した録画をすることはできません。
- 本製品で録画した番組は、本製品のみ視聴することができます。
- 本製品の故障などの理由により修理や交換をした場合には、すでに録画していた番組が視聴できなくなることがあります。
- 本製品で録画した番組は、移動や複製をすることができません。

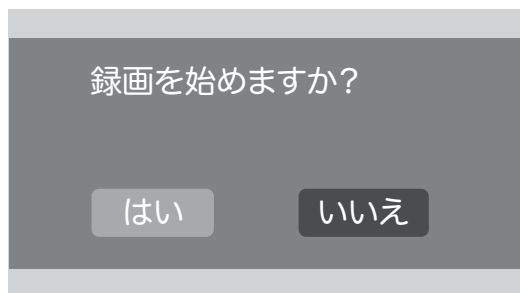
ハードディスク (HDD) などの記録メディア

- 本製品で使用できる HDD などの記録メディアは、DVD ディスク等と違い半永久的に使用や保存ができるものではありません。
- HDD を使用するには事前に試し録画して正しく録画できることを確認してください。
- 本製品で使用できない HDD について、当社では責任を負いません。
- 本製品で使用する HDD はテレビ録画用として市販されているものをお使いください。
- HDD の容量は 200MB から 2TB です。
- 本製品以外で使用していた HDD を接続すると、初期化されて保存したデータが消去されるおそれがあります。
- USB フラッシュメモリーは使用しないでください。
- 電源非供給の HDD は使えません。
- HDD を取り外す場合は電源をオフにしてから取り外してください。


録画・予約

●ダイレクト録画

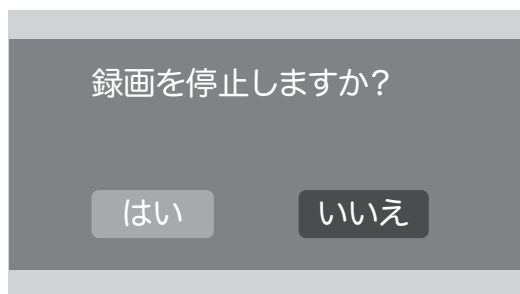
- 1 デジタル放送を見ている時に  を押します。
- 2  ではいを選び  を押します。
- 3 録画が開始します。
画面の右上に録画中と表示されます。



●録画の停止






- 1 録画中に  を押します。
- 2 メッセージが表示されます。
- 3 はいを選びます。

※ダイレクト録画中に電源ボタンを押すと、メッセージが表示されます。はいを選ぶと録画が停止し、スタンバイモードに移行します。



●録画(視聴)予約

◆番組表から番組を選択して録画予約をします。


- 1  を押します。 
- 2 録画予約する番組を  で選んで、
 を押します。
- 3 録画予約を選択します。
- 4 予約設定画面がでますので、内容を確認して、
 を押して確定します。

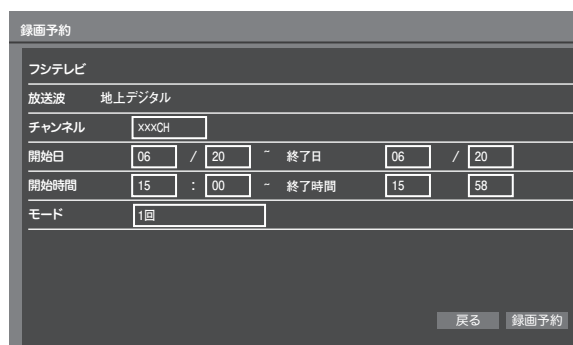
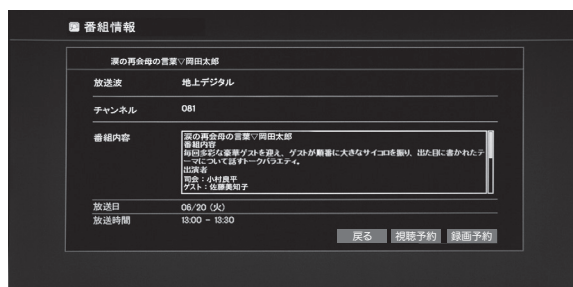
変更がある場合は  で移動して変更

したい項目を修正します。

録画にカーソルを戻して  を押します。

、 を押して番組表に戻ります。

- 5 番組表が出ますので、録画予約されたこと(赤マーク)を確認します。 を押します。
- 6 現在見ている番組に戻ります。



※現在時刻の放送を予約する場合は、開始時間を現在時刻以降に設定を変更して下さい。

録画・予約

※下記の場合には録画予約ができません。

■予約時間が重複している場合

→いずれかの録画予約、または視聴予約をキャンセルしてください。

■予約開始時に録画設定したハードディスクが接続されていない場合

→録画設定したハードディスクを接続してください。

■接続されているハードディスクの容量が不足している場合







→他のハードディスクを接続してください。
→すでに録画されている番組を削除してください。

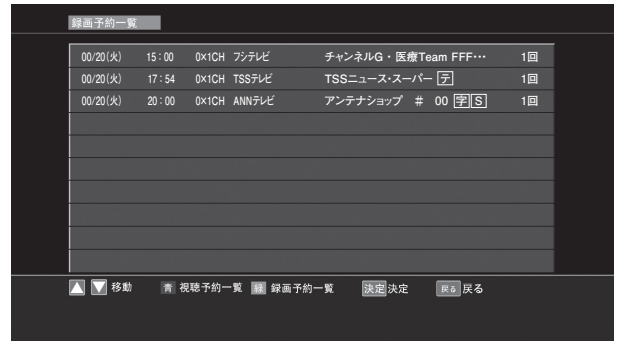
■受信レベルが低下している場合

→アンテナ線や入力端子の接続、外部アンテナなどをご確認ください。

●予約した番組の確認と削除




◆予約リスト

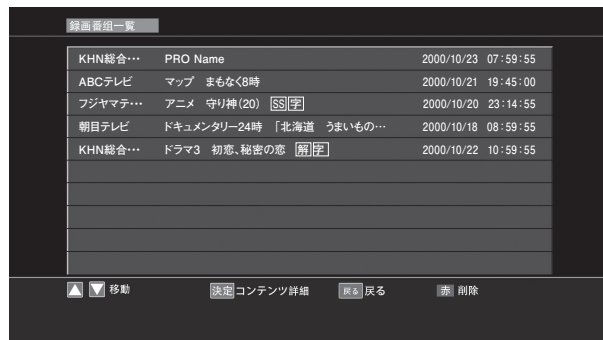
- 1 予約リスト  を押します。
もしくは  → 録画設定 → 録画予約一覧 →  を押します。
- 2 予約リストが表示されます。
- 3 予約を削除するには  で予約番組を選択します。録画予約画面が出ますので、削除を選んで  を押します。
- 4 はいを選択し  を押すと予約が削除されます。






再生する

●録画した番組を再生する





- 1 録画した番組を再生するには  を押します。
- 2 録画リストが表示されます。
- 3  で再生したい番組を選び  を押します。



●録画リストの削除

- 1 削除する番組を選んで  を押します。
- 2  を押します。
- 3 はいを選んで  を押すと削除されます。

●再生時のリモコン操作 下記の操作ができます。

-  再生中に一時停止と再生を切り換えます。早戻し早送り状態から通常再生に戻ります。
-  早戻しボタンを押すたびに、×2 → ×4 → ×8 → ×16倍速で早戻し再生ができます。早戻し中、再生ボタンを押すと通常再生に戻ります。
-  早送りボタンを押すたびに、×2 → ×4 → ×8 → ×16倍速で早送り再生ができます。早送り中、再生ボタンを押すと通常再生に戻ります。
-  再生を停止します。録画リストの画面に戻ります。

※ ◀ ▶ に音声は再生されません。

※再生中に番組先頭まで巻き戻すと再生再開されます。

※録画リストに複数のファイルがある場合、再生(早送り)が終わった後、次のファイルが自動的に再生されます。



録画したTV番組を再生できるのは、本製品だけです。他のTVやパソコンにこのHDDを接続しても再生できませんのでご注意ください。


設定

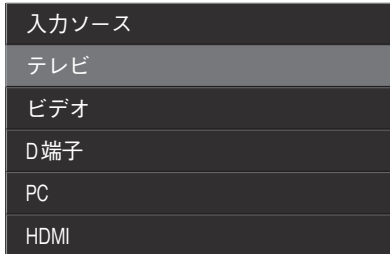
「設定」の項目では、メニュー画面での操作方法をご案内いたします。設定では本製品のチャンネル設定画面設定や音声設定などさまざまな設定をおこなうことができます。



設定のメニュー画面	35
チャンネル設定	36
視聴設定	38
機器設定	41
システム情報	43
録画設定	44

設定のメニュー画面

- メインメニュー画面では本製品のさまざまな設定をおこなうことができます。リモコンのメニューボタンを押すと、メインメニューの画面が表示されます。
- メインメニューの基本操作


1 ^{入力切換}  を押して変更したい入力モードに切り換えます。




入力切換の画面が表示されるので、リモコンの  で選択し  を押します。

2 ^{メニュー}  を押して、設定画面を表示させます。





3  を使い、チャンネル設定、視聴設定、機器設定、システム、録画設定の中から設定を確認、変更したいメイン項目を選びます。

4  を使い、各サブ項目の中から、設定を確認、変更したい項目を選びます。

入力の種類によって設定がおこなえる項目が異なります。
各サブ項目設定の変更方法は、それぞれのサブ項目により異なります。
操作方法は設定画面表示時に画面の下に表示されます。

前の画面に戻るにはリモコンの ^{戻る}  を押してください。

設定画面を消すには、もう一度 ^{戻る}  を押すか、^{メニュー}  を押してください。

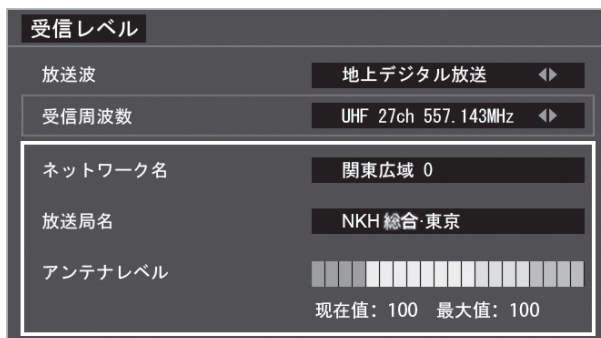
チャンネル設定

- チャンネル設定ではTV受信のためのさまざまな設定を確認したり、変更できます。
- 受信レベル(電波の強度、品質を確認します。)
地上デジタルアンテナを設置したい時や、お引越しなどでアンテナの角度を調整する場合に使用します。
あらかじめ、チャンネルスキャンをして放送局を設定しておきます。


1 設定画面から受信レベルを選びます。

2 受信周波数を選びます。

3 を押します。



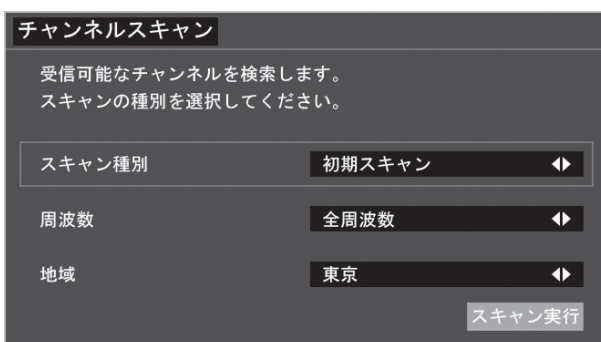
受信レベル

放送波	地上デジタル放送
受信周波数	UHF 27ch 557.143MHz
ネットワーク名	関東広域 0
放送局名	NKH 総合・東京
アンテナレベル	 現在値: 100 最大値: 100

アンテナ	20以下	電波が弱く映りません。
レベル	20~70	電波が弱く受信が不安定です。
	70以上	電波の強さが適正で、良好な受信ができます。

- チャンネルスキャン
地上デジタル放送の放送局を探して設定します。


1 設定画面からチャンネル設定、チャンネルスキャンを選びます。



チャンネルスキャン

受信可能なチャンネルを検索します。
スキャンの種別を選択してください。

スキャン種別	初期スキャン
周波数	全周波数
地域	東京



2 スキャン種別で初期スキャン、再スキャンを選びます。
初期スキャン テレビを設置した時におこないます。
再スキャン 放送局の映りが悪くなったり、映らなくなった時に再設定するためにおこないます。
対象周波数、地域はそのままスキャンします。

3 周波数でUHF、全周波数を選びます。
UHF UHFアンテナでの受信時に選びます。
全周波数 CATVでの受信時に選びます。
地域によってはアンテナがVHFの場合があります。
その場合は全周波数を選んでください。

4 地域 設置している地域を選びます。

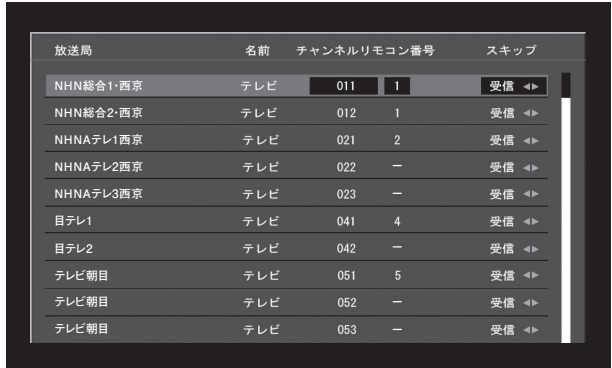
5 スキャン実行を選び、を押します。

チャンネル設定

● 地上デジタル放送リモコン設定

地上デジタル放送局のリモコン番号を任意に設定したり、チャンネルアップダウンの時に番組をスキップさせます。

1 設定画面から地上デジタル放送リモコン設定を選びます。



放送局	名前	チャンネル	リモコン番号	スキップ
NHN総合1・西京	テレビ	011	1	受信 ◀▶
NHN総合2・西京	テレビ	012	1	受信 ◀▶
NHNAテレ1西京	テレビ	021	2	受信 ◀▶
NHNAテレ2西京	テレビ	022	—	受信 ◀▶
NHNAテレ3西京	テレビ	023	—	受信 ◀▶
目テレ1	テレビ	041	4	受信 ◀▶
目テレ2	テレビ	042	—	受信 ◀▶
テレビ朝目	テレビ	051	5	受信 ◀▶
テレビ朝目	テレビ	052	—	受信 ◀▶
テレビ朝目	テレビ	053	—	受信 ◀▶

2 チャンネル 放送局を3桁入力で指定するときはこの番号を使います。

リモコン番号 放送局を選ぶときのリモコン番号を表します。リモコン番号を任意に設定するには、カーソルを合わせて数字キーを押してリモコン番号を設定します。

スキップ スキップを設定するとチャンネルアップダウンでその放送局は出てきません。カーソルを合わせて『受信』を押してスキップを設定します。『スキップ』を押して解除します。

視聴設定


画質や音質の設定をおこないます。

● 映像設定

映像設定を標準、映画、ゲーム、鮮明、ユーザーに選ぶことができます。標準、映画、ゲーム、鮮明の画質設定は変更することはできません。お好みの画質にするにはユーザーを使います。



1 設定画面から視聴設定、映像設定を選びます。

2  にて標準、映画、ゲーム、鮮明、ユーザーを選びます。

3 ユーザーでお好みの画質に変更することができます。

明るさ	0~100	画面の明るさを調整します。
コントラスト	0~100	画面のコントラスト(明暗)を調整します。
色合い	0	工場設定です。調整できません。
シャープネス	0~100	画面のシャープさを調整します。
カラー	0~100	画面の色の濃さを調整します。

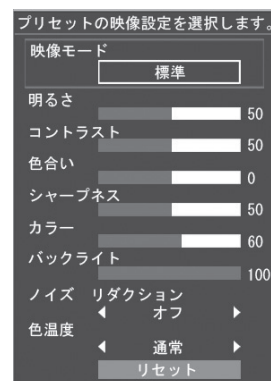
バックライト バックライトの明るさを調整します

ノイズ 低:ノイズは目立ちますがシャープな画面です。

リダクション 中:ノイズとシャープさが中間的です。

高:ノイズは減りますが、平板な画面です。


色温度 ノーマル:標準のホワイトバランス
クール :青っぽいホワイトバランス
ウォーム:赤っぽいホワイトバランス
リセット 設定をデフォルト値にします。



● 音声設定

音声モードを標準、映画、ニュース、音楽、ユーザーに選ぶことができます。標準、映画、ニュース、音楽の音声設定は変更することはできません。お好みの音質にするにはユーザーを使います。

1 設定画面から視聴設定、音声設定を選びます。

2  にて標準、映画、ニュース、音楽、ユーザーを選びます。

3 ユーザーでお好みの音質に変更することができます。

4 AVL 自動で音量を調整します。

5 スピーカーバランス
スピーカーの左右のバランスを調整します。



視聴設定

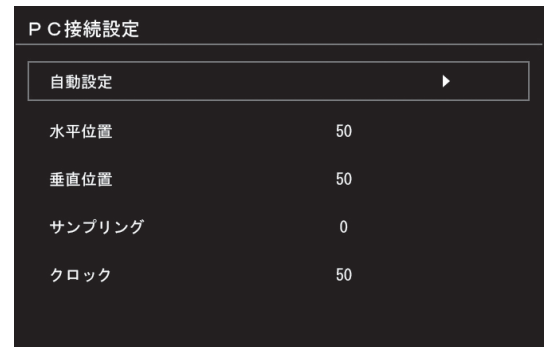
● PC接続設定

PC接続時の画面の調整をします。

- 1 設定画面から視聴設定、PC接続設定を選びます。



- 2 PC接続設定を自動でおこなうときは自動を選びます。



- 3 PC接続設定を手動でおこなうときは手動を選びます。

水平位置	0～100	画面の水平位置を調整します。
垂直位置	0～100	画面の垂直位置を調整します。
サンプリング	0～100	画面が安定するようにサンプリングを調整します。
クロック	0～100	画面が安定するようにクロックを調整します。

視聴設定

● 省エネモード

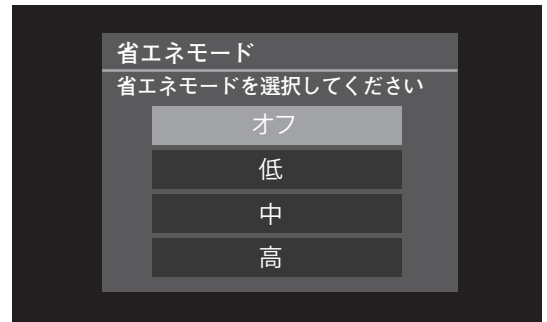
バックライトの明るさを調整して消費電力を抑えることができます。

- 1 設定画面から機器設定、省エネ設定を選びます。



- 2 オフ、低、中、高を選びます。
オフに対して

- 低 約5%省エネになります。
- 中 約10%省エネになります。
- 高 約20%省エネになります。




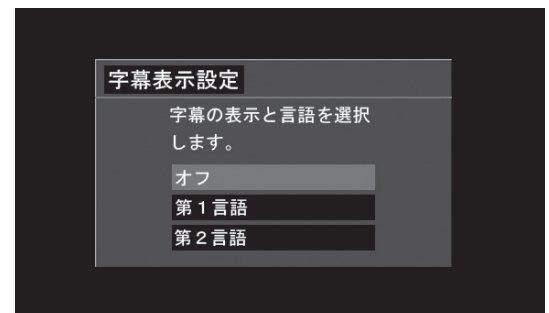
● 字幕表示設定

字幕のある番組のときに、字幕の表示・非表示、言語を切り換えることができます。

- 1 設定画面から視聴設定、字幕表示設定を選びます。



- 2  でオフ、第1言語、第2言語を選びます。



機器設定

● デジタル音声出力設定

接続する出力機器に応じて、デジタル音声出力の型式を選びます。

- 1 設定画面から機器設定、デジタル音声出力設定を選びます。



- 2 接続する出力機器に応じて、PCMか自動を



で選びます。

自動を選ぶと地デジ音声はAAC形式で出力されます。

デジタル音声出力設定

デジタル音声出力の出力形式を選択してください。

オフ

PCM


自動

● 暗証番号設定

暗証番号を変更します。


- 1 設定画面から機器設定、パスワード変更を選びます。

- 2 暗証番号を入力します。
出荷時の暗証番号は0000です。

- 3  を押します。

- 4 新たに設定する暗証番号を入れます。

- 5 確認のために再入力します。

- 6  を押します。

暗証番号設定

暗証番号を入力してください。(4桁)

決定

キャンセル

暗証番号設定

暗証番号を入力してください。(4桁)

暗証番号

再入力

決定

設定

機器設定

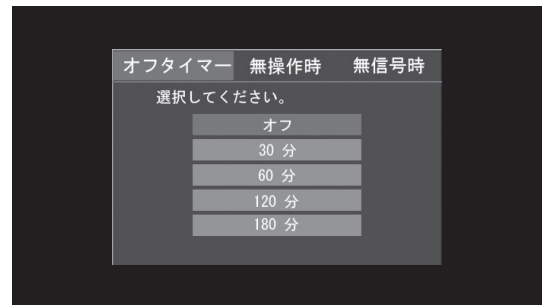
- オフタイマー設定
電源が切れる時間を設定します。

1 設定画面から機器設定、オフタイマーを選びます。

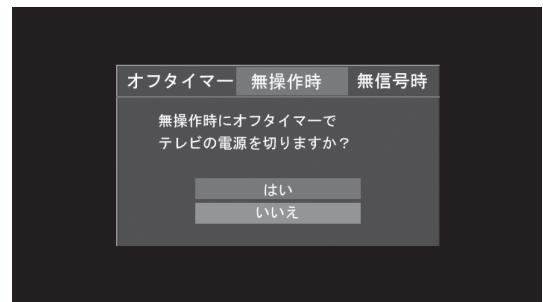


2 オフタイマー無操作時、無信号時を選びます。

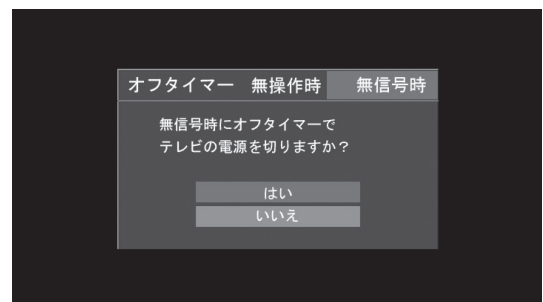
◆オフタイマーの時間を設定します。



◆無操作時 4時間でテレビの電源を切ります。



◆無信号時 10分でテレビの電源を切ります。



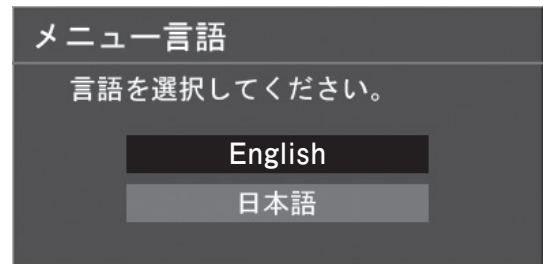
システム情報

本製品の動作やソフトウェアに関する情報が閲覧できます。




● 言語設定

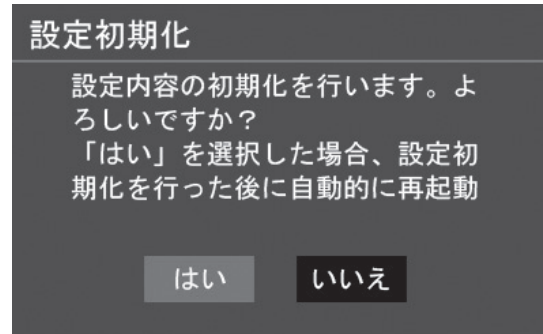
- 1 設定画面から機器設定、言語設定を選びます。
- 2 Englishか日本語を選びます。



● 設定初期化

本製品の設定を工場出荷時に戻します。

- 1 設定画面からシステム、設定初期化を選びます。
- 2 暗証番号を入力してください。
- 3  を押します。



● システム情報

システム情報が閲覧できます。

- 1 設定画面からシステム情報を選びます。

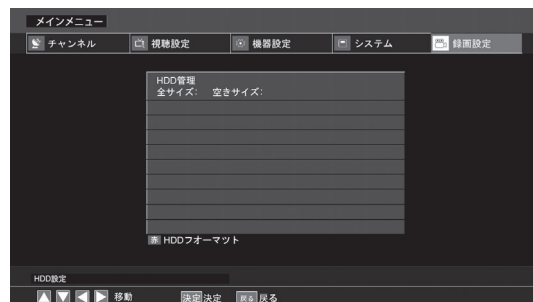


録画設定

録画設定では録画に関する様々な設定を行います。

● HDD管理

- 1 接続されているHDDを表示します。
- 2 赤ボタンを押して、HDDのフォーマットをします。フォーマットをするとHDDの内容はすべて消去されます。



● 録画設定

- 1 ダイレクト録画での録画先HDD



でHDDを選びます。通常はCが選択されています。

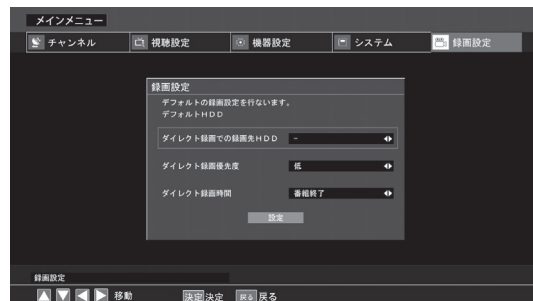
- 2 ダイレクト録画優先度

低：予約録画と重複した場合、ダイレクト録画が中止されます。

高：予約録画と重複した場合、予約録画がキャンセルされます。

- 3 ダイレクト録画時間

ダイレクト録画の終了時間を設定します。
番組終了、1時間、2時間、4時間、6時間



● 録画予約一覧

- 1 予約録画中の番組を一覧できます。

番組を



で選んで削除できます。



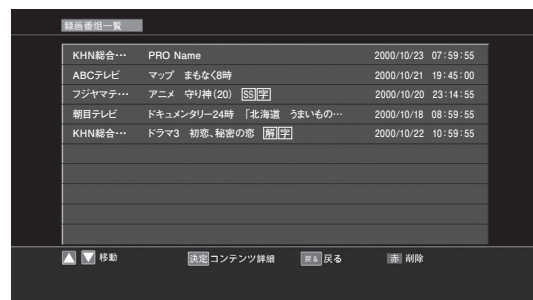
● 録画リスト

- 1 録画した番組が一覧できます。放送局別に録画時間の新しい番組を先頭に並んでいます。

- 2 番組を



で選んで削除できます。



外部機器との接続

「外部機器との接続」の項目では再生機器やPC(パソコン)などとの接続方法をご案内いたします。

デジタル音声入力のある機器との接続	46
ビデオ映像出力のある機器との接続	47
D映像出力のある機器との接続	48
HDMI出力のある機器との接続	49
PC(パソコン)との接続	50



- ・ケーブル接続作業の際は、電源プラグを抜いて作業してください。
- ・ノイズが入る場合がありますので外部機器と本製品との間には十分な距離をおいてください。
- ・接続する機器の映像出力端子の種類によって接続方法が異なります。接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- ・各外部入力は映像端子が接続されていない状態では音声が出力されません。予めご了承ください。

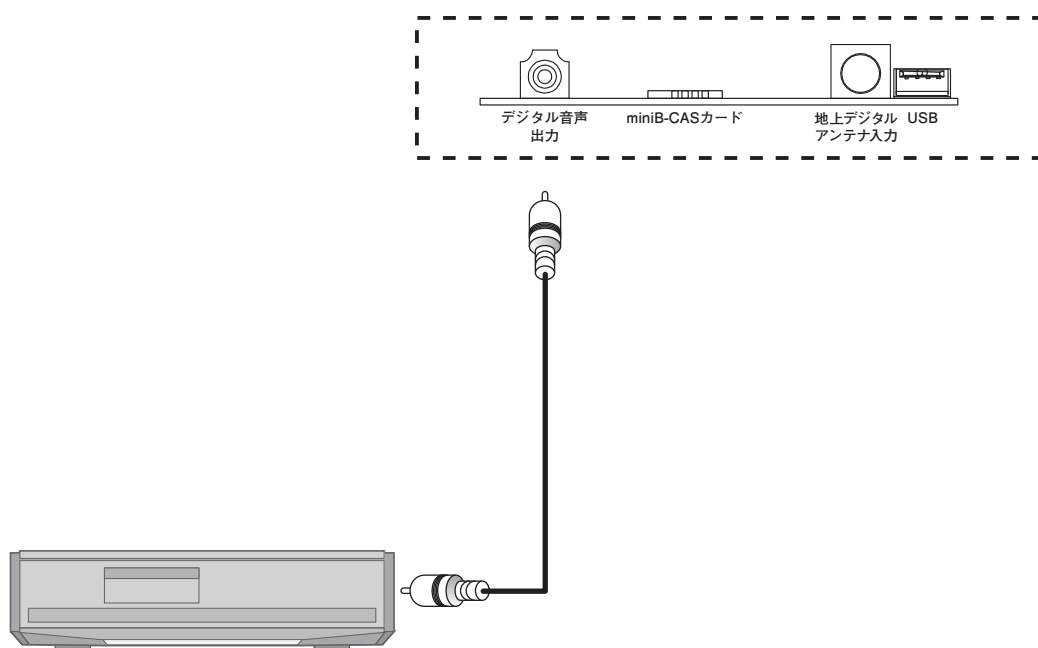
デジタル音声入力のある機器との接続

TVデジタル音声をデジタル音声出力端子から外部オーディオ機器に出力します。接続には75Ωの同軸ケーブルが必要です。

デジタル放送を5.1chスピーカーで楽しみたい時には、デジタル音声端子からホームシアター(デジタルアンプ)に接続してください。

⚠️ ご注意:デジタル音声出力は、HDMIもしくはテレビモードの時に働きます。

⚠️ TVのスピーカーからの音を消すには音量を0にしてください。



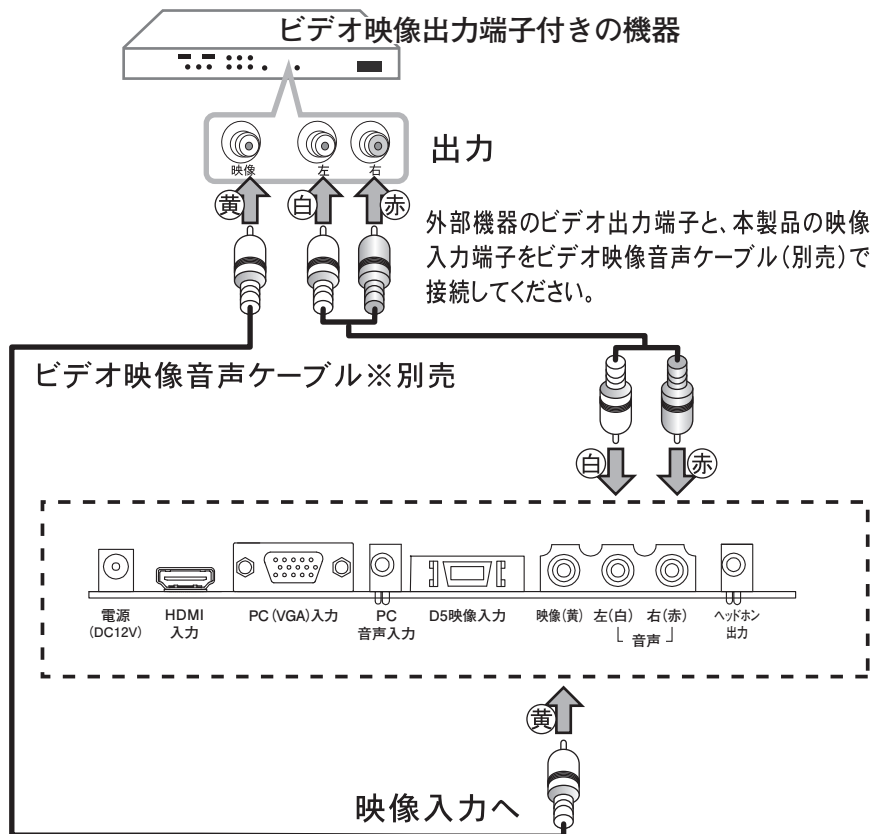
デジタル音声はSPDIF方式です。

SPDIFとは、Sony Philips Digital Interface の略称で、音声信号をデジタル転送するための規格です。

ビデオ映像出力のある機器との接続

● ビデオ映像出力のある機器との接続のしかた

ビデオデッキは機種によって正常に映像、音声が出ない場合がございます。



入力切換をおこなっても「無信号」と表示される場合は、正常に接続できていない可能性があります。もう一度、外部機器との接続を確認してください。



- ・ケーブル接続作業の際は、電源プラグを抜いて作業してください。
- ・接続の際には同じ色のケーブルと端子を接続してください。
- ・ビデオ入力接続の際には他の映像ケーブルは取り外してください。
- ・ノイズが入る場合がありますので外部機器と本製品との間には十分な距離をおいてください。
- ・接続する機器の映像出力端子の種類によって接続方法が異なります。接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- ・図は略図です。実際は異なることがあります。


● 入力したビデオ映像をご覧になるには

入力切換



を押すと、画面右上に右図の入力切換メニューが表示されます。



を使い、ビデオを選択し  を押してください。

入力ソース

テレビ

ビデオ

D端子

PC

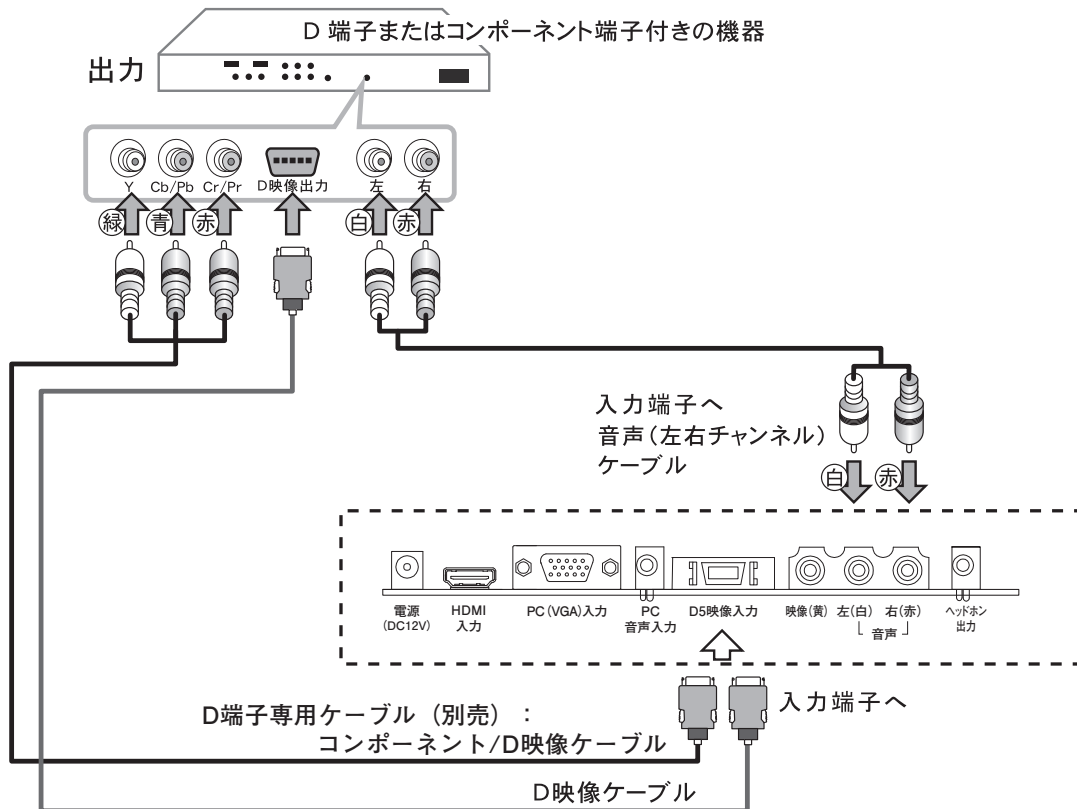
HDMI

D 映像出力のある機器との接続

● D 映像出力のある機器との接続のしかた

- ◆ D 端子専用ケーブル(別売)で本製品のD5映像入力を外部映像機器(例えば、DVD、高解像度セットトップボックス等)のD端子あるいはコンポーネント端子と接続します。
- ◆ 音声ケーブル(別売)で本製品の音声入力端子(左/右)を外部映像機器の音声出力端子(左/右)と接続します。
- ◆ 本製品のD端子が対応している映像入力信号フォーマット:480i、480P、720P/60Hz、1080i/50Hz、1080i//60Hz、1080P/50Hz、1080P/60Hz。

※ビデオデッキは機種によって正常に映像、音声がでない場合がございます。



入力切換をおこなっても「無信号」と表示される場合は、正常に接続できていない可能性があります。もう一度、外部機器との接続を確認してください。

- ケーブル接続作業の際は、電源プラグを抜いて作業してください。
- 映像や音声などにノイズが入る場合は外部機器と本製品との間には十分な距離をおいてください。
- D端子映像接続、SD信号↔HD信号切換時、信号に合わせて本製品内部で画面を調整し直すため、画面がちらつくことがあります。
- 接続する機器の映像出力端子の種類によって接続方法が異なります。接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 図は略図です。実際は異なることがあります。

● 入力したD映像をご覧になるには

入力切換

を押すと、画面右上に右図の入力切換メニューが表示されます。



を使い、D5映像を選択し(決定)を押してください。

入力ソース
テレビ
ビデオ
D端子
PC
HDMI

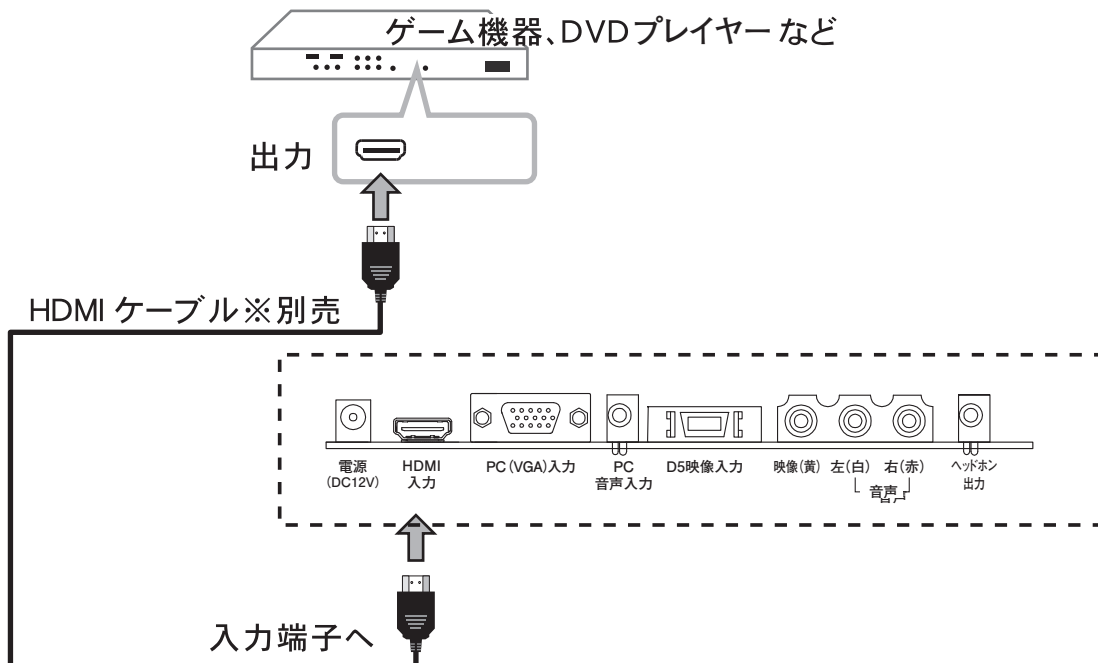
⚠ 外部機器と連動するCEC機能には対応していません。

HDMI出力のある機器との接続

● HDMI端子を使う場合

HDMI端子のあるDVDプレーヤーやブルーレイディスクプレーヤー、ケーブルTVや衛星放送のセットトップボックスなどを本製品に接続することができます。

HDMIケーブルを1本接続するだけで、デジタル信号のまま映像信号と音声信号を入力することができます。



入力切替をおこなっても「無信号」と表示される場合がありますが、数秒後に接続されます。
入力切替をおこなっても「無信号」と表示され続ける場合は、正常に接続できていない可能性があります。
もう一度、外部機器との接続を確認してください。



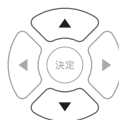
- ケーブル接続作業の際は、電源プラグを抜いて作業してください。
- HDMIの標準技術規格に対応した機器をお使いください。
- 図は略図です。実際は異なることがあります。

● 入力した HDMI 映像をご覧になるには

入力切替



を押すと、画面右上に右図の入力切替メニューが表示されます。



を使い、HDMI を選択し  を押してください。

画面表示



を押すと画面に現在の入力信号の情報を表示します。

入力ソース

テレビ

ビデオ

D端子

PC

HDMI

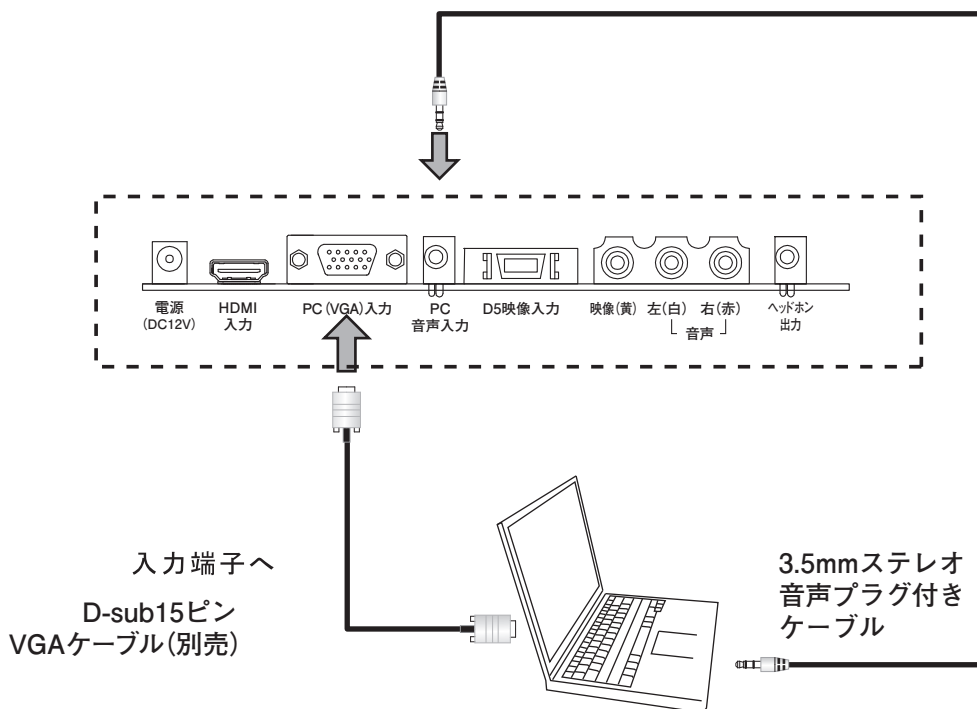


外部機器と連動するCEC機能には対応していません。

PC (パソコン) との接続

● PC (パソコン) との接続しかた

- ◆ D-sub15ピンVGAケーブル (別売) で本製品のPC (VGA) 入力とPC (パソコン) のVGA端子を接続します。
- ◆ 3.5mmステレオ音声プラグ付きケーブル (別売) で本製品のPC音声入力とPC (パソコン) の音声出力端子を接続します。



- ◆ PC (パソコン) にHDMI出力がある場合は、49ページのHDMI出力のある機器との接続を参照してください。
PCの出力がフルハイビジョンである場合は1366×768に変換されて表示されます。

入力切換をおこなっても「無信号」と表示される場合は、正常に接続できていない可能性があります。
もう一度、外部機器との接続を確認してください。
サポート解像度は、以下の通りです。下記以外の解像度は、保証対象外となります。ご了承ください。

解像度 (ピクセル)		リフレッシュレート (Hz)
SVGA	800x600	60
XGA	1024x768	60
WXGA	1280x720	60
WXGA	1366x768	60

※一部メーカーのグラフィックボードでは対応できないことがあります。ご了承ください。

PC (パソコン)との接続



- 本製品サポート以外の解像度設定をおこなった場合、画面表示ができないことがあります。ご了承ください。
- 音量の調整はPC側でもおこなってください。
- 接続作業の際は、電源プラグを抜いて作業してください。
- ノイズが入る場合がありますので外部機器と本製品との間には十分な距離をおいてください。
- 接続時にはPCの取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 図は略図です。実際は異なることがあります。

● PC (VGA) 接続の場合

◆ 入力したPC映像をご覧になるには

入力切換



を押すと、画面右上に右図の入力切換メニューが表示されます。



を使い、PCを選択して **決定** を押してください。

入カソース
テレビ
ビデオ
D端子
PC
HDMI

● HDMI接続の場合

◆ 入力したHDMI映像をご覧になるには

入力切換



を押すと、画面右上に右図の入力切換メニューが表示されます。



を使い、HDMIを選択し **決定** を押してください。

入カソース
テレビ
ビデオ
D端子
PC
HDMI

その他

「その他」の項目では、本製品をお使いにあたっての各種情報をご案内いたします。

故障かな?と思ったら	53
壁掛けについて.....	57
製品仕様.....	58
保証書とアフターサービス.....	60

故障かな?・・・と思ったら

故障かもしれないと思ったらこの項目の症状をチェックしてください。操作ミスや設定ミスの可能性もあります。また、本製品以外が原因の可能性もあります。プレーヤーなど、あわせて使用している機器の取扱説明書もご覧ください。下記からの各項目を見て設定などを点検しても直らない場合お買い上げの販売店、またはサービス / コールセンター(TEL:0570-021-051)までお問い合わせください。サービス / コールセンターにご相談になるときは、本製品の型番、症状を詳しくお知らせください。

症状	原因/対処
電源が入らない。 電源がときどき切れる。 画面が映らない。	<ul style="list-style-type: none">●電源コードが正しく電源接続されているか確認してください。(⇒20ページ)●アンテナ線がきちんと接続されているか確認してください。(⇒18ページ)●メニュー>チャンネル設定>チャンネルスキャン>再スキャンをおこなってください。(⇒36ページ)
特定のチャンネルのみ映らない。	<ul style="list-style-type: none">●メニュー>チャンネル設定>受信レベルで受信レベルを確認してください。(⇒36ページ)●メニュー>チャンネル設定>チャンネルスキャン>再スキャンをおこなってください。(⇒36ページ)
外部機器の映像や音声が出ない。	<ul style="list-style-type: none">●接続が正しくされているか確認してください。(⇒45ページ~51ページ)●外部機器の電源が入っているか確認してください。●リモコンの入力切替ボタンを押し、入力信号が合っているか確認してください。
映像にブロックノイズや雑音が多い。	<ul style="list-style-type: none">●アンテナ接続ケーブルは他のケーブルやコード類からできるだけ離してください。●フィーダー線や室内アンテナは電波障害を受けやすいのでお買い求めの販売店や取り付け業者にご相談ください。(⇒18ページ)
画面に黒い点(点灯しない点)または輝点(光る点)が見える。	<ul style="list-style-type: none">●液晶は微細な画素の集合です。画面の一部に画素の欠け(ドット抜け)や輝点が存在する場合がありますが故障ではありません。(⇒10ページ)
画面に斑点状や縦縞、横縞、網目状のノイズが発生する。	<ul style="list-style-type: none">●本製品の近くにほかのテレビやコードレス電話、ドライヤー、またはほかの電化製品がある場合、それらの電化製品の電波により画面が乱れることがあります。その場合は近くにある電化製品の電源を切ってください。●自動車やバイク等からの電波干渉を受けている可能性があります。本製品をなるべく道路側から離してください。
チャンネルを切り換えたときにノイズが出る。	<ul style="list-style-type: none">●デジタルハイビジョン信号と標準テレビ信号など映像の解像度が変化するときに、白い線などが見えますが、これは製品内部で信号の同期を取るために起きるもので、故障ではありません。

故障かな?・・・と思ったら

症状	原因/対処
電源が突然切れた。 いつの間にか消えていた。	● オフタイマーを設定していないか確認してください。(⇒26ページ)
電子番組表の番組欄に 何も表示されない。	● 番組表情報をダウンロードするには多少、時間がかかります。(⇒28ページ) (電波状況によります)しばらくお待ちください。 ● 放送局を受信しないと番組情報は取得できません。放送局を選局してください。
番組表から録画ができ ない。	● HDDが設定されているか確認してください。(⇒44ページ)
字幕が表示されない。	● 「視聴設定」の「字幕表示設定」の「第1言語」「第2言語」を設定してください。 (⇒40ページ)
① 画面に「miniB-CAS カードを正しく装着し てください」というメッ セージが表示される。 ② 画面に「miniB-CASカー ドを確認してください」と いうメッセージが表示される。 ③ miniB-CASカードを紛失、 破損してしまった。	● miniB-CASカードが本体に装着されていないか、抜けかかっている可能性があります。(⇒19ページ) ● miniB-CASカードが本体に間違って装着されている可能性があります。それでも直らない場合はB-CASカスタマーセンター(TEL:0570-000-250)へお問い合わせください。 ● miniB-CASカードに関するお問い合わせはB-CASカスタマーセンター(TEL:0570-000-250)へお問い合わせください。
同じ放送局内の違うチャン ネルに切り換わらない。	● 地上デジタル放送では1つの放送局から複数の番組が提供されている場合があります。(⇒29ページ) この放送は時間帯などによって放送しているときとしていないときがありますので、まずは視聴する放送局が複数のチャンネルを放送しているかを番組表などで確認してください。 複数の番組に分かれている場合はリモコンのチャンネル＋ボタンを使ってチャンネルを切り換えてください。数字ボタンでは番組が分かれている場合、代表チャンネルにしか切り換えられません。
リモコンが反応しない。	● 電池を交換してください。(⇒20ページ) ● 電池の＋/－を確認してください。 ● リモコンを本製品のリモコン受光部に正しく向けて操作してみてください。 ● リモコン受光部に蛍光灯などの強い明かりが当たっているときは、リモコンがうまく反応しないときがあります。その場合はリモコン受光部に強い光が当たらないようにしてください。 ● 近くに電子レンジがある場合リモコンがうまく反応しないことがあります。 ● リモコンの発光部を携帯電話等のカメラで撮影して、光っていればリモコンは正常です。 ● 番組表は、番組データ取得中はリモコン操作に反応しません。
音声が出ない。	● 音量が下がりきっていないか確認してください。(⇒25ページ) ● 接続した外部機器の音量が下がりきっていないか確認してください。 ● 接続が正しいか確認してください。 ● 消音になっていないか確認してください。

故障かな?・・・と思ったら

症 状	原因/対処
<p>①ブロックノイズ(※モザイク状のノイズ)が出る。</p> <p>②地上デジタル放送が映らない。</p> <p>③映像が動かず、リモコンが反応しない。</p>	<p>●デジタル放送は電波受信状況により①②③のような症状が発生します。その場合は下記項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 電源ボタンを切ってから、アンテナ接続ケーブルが正しく接続されているかご確認ください。(⇒18ページ) - マンションにお住まいの方は地上デジタル放送が受信されているかマンション管理者にお問い合わせください。(⇒18ページ) - ケーブルテレビの場合は、設定がケーブルテレビ会社により異なります。各ケーブルテレビ会社にお問い合わせください。(⇒18ページ) - アンテナの位置、角度、方向、を変えてみてください。(⇒36ページ) - 弱電界(電波が弱すぎる)の可能性があります。アンテナの状態をお確かめください。 - ブースターのレベルを上げすぎると電波が受信できなくなることがあります。 - miniB-CASカードが正しく挿入されているかご確認ください。(⇒19ページ) - チャンネル設定ができていないかご確認ください。(⇒37ページ) - 本製品の近くでほかの電化製品(電子レンジ、携帯電話など)を作動させると映像や画像が乱れることがあります。 - メニュー>チャンネル設定>チャンネルスキャン>再スキャンをおこなってください。 - 集中豪雨のときなど、著しく悪天候の場合も電波状況が悪くなり①②③のような症状が発生することがあります。天候が回復するまでお待ちください。(⇒36ページ)
<p>電源を入れたときにピッという音をする。</p>	<p>●電源を入れた際に、内部の回路が働くために音がしますが、故障ではありません。</p>
<p>スタンバイ状態でカチッという音が本体内部から聞こえる。</p>	<p>●デジタル放送からデータの取得をするため本体内部の回路の電源が自動的に入るため音がすることがあります。故障ではありません。</p>
<p>本体からピシッというきしむ音をする。</p>	<p>●周囲との温度差により本体カバーが伸縮し、ピシッという音が出ることがありますが本製品には影響ありません。</p>
<p>パソコンの画像が出ない。</p>	<p>●接続するパソコンの種類によっては、画像が表示されない場合があります。パソコンの画面設定を変更してみてください。(⇒50、51ページ) パソコンの設定方法については、各パソコンの取扱説明書をご覧ください。</p>
<p>ビデオやDVDの再生時に縦縞のノイズが出る。</p>	<p>●ビデオデッキやDVDプレーヤーとつないでいる場合、本製品との距離が近すぎるため干渉している可能性があります。ビデオデッキやDVDプレーヤーと本製品を離して置いてください。(⇒48ページ)</p>

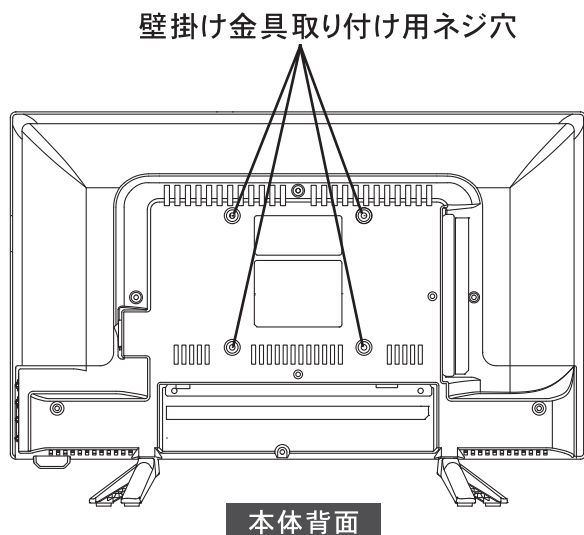
故障かな?・・・と思ったら

症状	原因/対処
ビデオ等の再生時に画像が乱れ画面に映らなくなる。	<ul style="list-style-type: none">●映像信号変換機能の付いた外部機器(アンプ等)を使用して、ビデオ映像信号やS映像信号をコンポーネントやD映像信号に変換して本製品に接続した場合、映像信号の状態によっては映像が乱れたり、映らないことがあります。その場合は通常のビデオ映像信号を直接、本製品に接続してください。
画像は出るが音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">●本機、または再生させている機器の音量が下がりがきっていないか、または消音状態になっていないか確認してください。(⇒25ページ)●音声端子が適切に接続されているか確認してください。●パソコンと接続している場合はパソコン側の音量も調整してください。
接続した機器の映像が出ない。	<ul style="list-style-type: none">●接続コードを正しくつないでください。(⇒45ページ)●コードが適切な場所に正しく接続されているか確認してください。●リモコンの入力切替ボタンを押して適切な入力信号に切り換えてください。

壁掛けについて

本製品は市販の壁掛け金具を使用して、壁に取り付けることができます。

- テレビを取り付ける壁の強度には十分ご注意ください。
- 壁掛け金具の取り付けは、必ず専門の業者にご依頼ください。
- 専門業者以外の方が取り付けて、壁への取り付けが不適切だと、テレビが落下して、打撲や大けがの原因となることがあります。
- VESA規格：
MIS-D 100,100,4 に準拠



取り付け用ネジ
M4 ×4

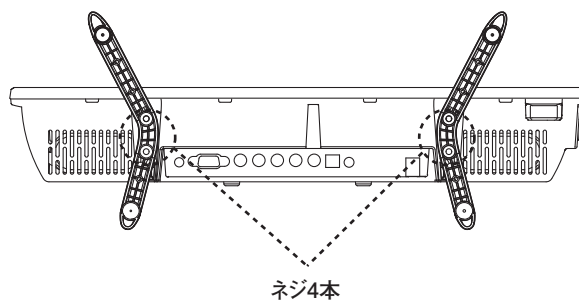


注意

取り付け用ネジ穴の深さは5mmです。
ネジの長さは壁掛け金具の厚さ足す
5mm以内のものをご使用ください。

● スタンドのはずしかた

- 1 ドライバーで両端のネジを2本取ってください。
- 2 テレビの本体ケースとスタンドを分離してください。
- 3 標準VESAのアクセサリでテレビを壁に取り付けてください。



- 液晶パネルを傷つけないように、毛布や保護シートなどの上に、画面を下にして置くなど、取り扱いにご注意ください。
- はずしたネジは、再度スタンドを取り付ける場合に必要です。
スタンドと共に保管してください。

製品仕様

型名	A19C1B2	
液晶パネル	パネルサイズ	18.5インチ
	解像度	1366 × 768
	色域	16.7百万色(6ビット+HiFRC)
受信放送	ISDB-T	
待機電力	1W 以下	
消費電力	定格電圧	AC100V 50/60Hz AC/DCアダプタ DC12V
	定格消費電力	25W
	年間消費電力量 ^(※①)	23Kwh/年
スピーカー出力	3W × 2	
使用環境	0°C-35°C	
壁掛け	VESA 規格 M4 100 X 100mm 準拠	

付属品	①取扱説明書 ②保証書 ③リモコン ④リモコン用乾電池(単4形)x2本 ⑤AC/DCアダプタ ⑥mini B-CASカード(青) ⑦スタンドx2本 ⑧スタンド取り付け用ネジx4本
-----	---

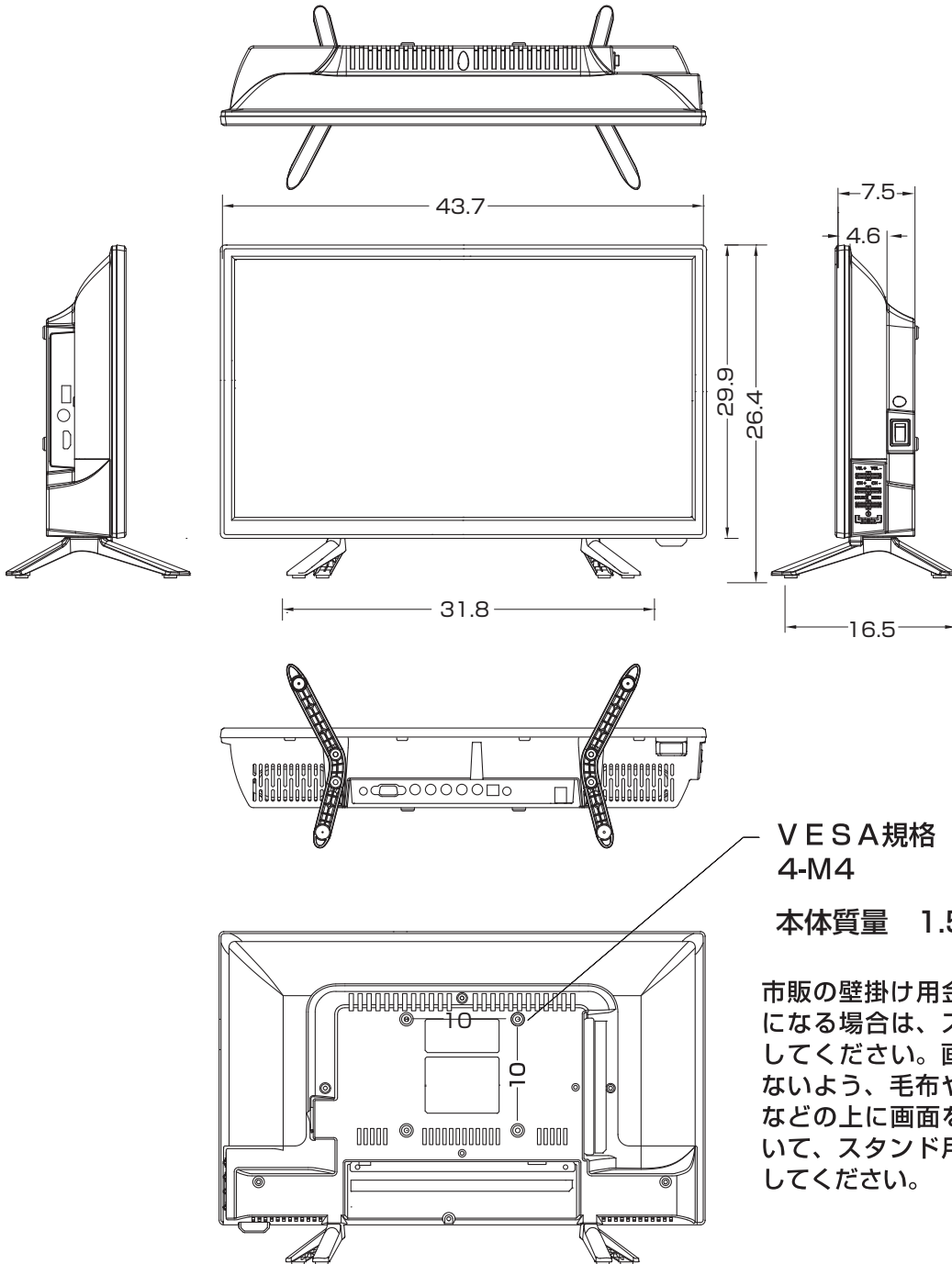
入力	ビデオ入力(映像/音声) × 1
	D5映像入力(音声はビデオ入力音声と兼用) × 1 (※②)
	HDMI入力 × 1
	PC(VGA)入力 × 1
	PC音声入力 × 1
	地上デジタルアンテナ入力(F型)
出力	デジタル音声出力 × 1 ヘッドホン出力 × 1
その他端子	USB(DC5V 500mA) × 1

※① 年間消費電力量とは、省エネ法に基づき、サイズや受信機の種別別の算定式により、1日4.5時間の動作時間、19.5時間の待機時間で算出した、1年間に使用する電力量です。

※② D5端子はD1～D5まですべて使用可能です。

6面図

単位 cm



VESA規格 ねじ穴
4-M4

本体質量 1.5kg

市販の壁掛け用金具をお使いになる場合は、スタンドを外してください。画面を傷つけないよう、毛布や保護シートなどの上に画面を下にして置いて、スタンド用のネジを外してください。

●保証書とアフターサービス

本製品のアフターサービスに関してご不明な場合は、ご相談窓口にお問い合わせください。

保証書・保証期間について

- この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、販売店の捺印の有無、および記載内容をご確認ください。なお、保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
- 弊社では、この製品の補修用部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の製造終了後、最低8年間保有しています。

修理を依頼されるとき

修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

【保証期間中の場合】

保証書の規定に従い、弊社にて修理をさせていただきます。下記のサービス／コールセンターにご連絡ください。

【保証期間を過ぎている場合】

お買い上げの販売店にご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

故障／修理のお問い合わせは下記のサービス／コールセンターまでお願いいたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前・ご連絡先の住所・電話番号／FAX番号
- お買い上げ年月日・販売店名
- モデル名・製造番号（製造番号は、本体の背面部のラベル上および保証書に表示されている番号です）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

[製造元]

株式会社 アペックス

〒409-0112 山梨県上野原市上野原964

■お客様サービス / コールセンター

TEL: 0570-021-051 FAX: 0554-56-8086

営業時間: 12時～17時 営業日: 平日(月～金)、年末年始、夏季休業期間を除く